車数	事務事業名 観光地域づくり法人支援事業								本年度担当課	観光推進課			
争的	学 物学术位								前年度担当課	観光推進課			
	基本目標	02	新たれ	な流れ	れの創造による馴	張わうまちづく	IJ		新規・継続	継続事業			
政策	政策	01 1	観光。	とコ:	ンベンションによ	はる賑わいと活:	カあるまちづくり		実施計画・一般	実計計画事業			
体系	施策	01 7	ひとる	を集る	める観光戦略の展	展開		事	市単独・国県補助	市単独事業			
	基本事業	01 7	漬極 的	的な記	誘客を図る観光戦	战略の推進		業	任意・義務	任意的事業			
予算	会計	款	項	目		予算事	業名	区	実施方法	直営			
科目	一般	07	01	04	観光地域づくり	法人支援事業		分	事業分類	支援事業			
車:	事業計画				単年度繰り返し 事業期間 令和2年度 ~					該当なし			
尹:	未計凹	単年度繰り返し				事業期間 令和2年度 ~			総合戦略	該当			
根拠	法令・条件	列等											

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標 | ①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。) |事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方) 令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容) 佐野市において観光庁の観光地域づくり法人(D 佐野市観光地域づくり候補法人支援補助金を交付 ・佐野市観光地域づくり協議会への参画 MO)の考え方に基づき、新たにDMOという手 法により、民間目線でのマーケティングマネジメ ※令和5年3月31日に観光地域づくり法人(地域DMO)へ登録となる。 ントを導入し「稼ぐ力」を引き出し、観光地経営 を担う観光地域づくりを行う舵取り役となり、観 光誘客の推進と地域の活性化を図る。法人の事業 R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 の柱である、①観光事業、②コンベンション事業 単位 活動指標 、③物販事業等について、事業を安定的に行える (実績) (実績) (目標) │(目標) │(目標) よう多様な関係者で組織する観光地域づくり協議 観光地域づくり協議会開催数 回 1 3 3 3 3 会を運営する。 ②対象 (この事務事業は誰・何を対象としていますか?) 観光客、宿泊者、外国人観光客 R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 単位 対象指標 (実績) (実績) (目標) (目標) (目標) 来訪者満足度 % 95. 1 95. 2 96 96. 5 97 <u>リピーター率</u> 81.4 % 88. 1 78 79 80 目 ③意図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?) |本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもら 単位 R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | 成果指標 R7年度 う。 旅行消費額 目標 10,000 | 11,000 | 11,300 | 11,600 | 11,900 円/人 実績 10, 087 12, 972 宿泊者数 (DMO調査) 50 62 63 目標 60 61 千人 実績 41 57 ④結果(どのような結果に結びつけますか?) 佐野市に訪れてもらう。 単位 R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 上位成果指標 佐野市に宿泊してもらう。 8, 600 目標 10,000 8, 700 8, 800 市の観光客入込数 8, 500 千人 6, 503 6, 429 実績 市の観光宿泊客数 人 実績 40,914 56,943

		財源内訳	単位	R3年度(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度	(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		10, 000		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		7, 900		21		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		7, 900		10, 021		0		0		0
	業	事業費の 内訳		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	未					負担金、補助	及び 10,021						
入	貝												
量													
			千円										
		八百八											
	ᇫ	職員従事工数	人工		0		0. 18		0		0		0
	費		千円		0		1, 312		0		0		0
	1-5	タルコスト (A) + (B)	千円		7, 900		11, 333		0		0		0

ſ	事務事業名	観光地域づくり法人支援事業	本年度担当課	観光推進課
ı	尹仍尹禾石		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、	新たなDMOという考えを取入れることにより、行政や観光協会では不足していた民間目線						
どのようなきっかけで開始しましたか?	┃でのマーケティングマネジメントを導入し、「稼ぐ力」を引き出し、観光地経営を担う組織┃						
とのようなとうがりで開始しようにが、	推進することは、将来の佐野市の観光振興をより発展させる最も有効な手段であるため。						
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	国内観光客の旅行目的は多様化しており、従来の名所旧跡に加え、市街地、農山村等を回遊						
県などの法令等、社会情勢など)は	┃し、自ら体験し地域住民と交流する「コト消費」観光が増えている。観光環境はIT化も加┃						
事務事業の開始時期と比べてどのように	わり急激に変化しており、即応しなければ「取り残された地域」になってしまう。						
変化していますか?							
③この事務事業に対して、当該年度中、	令和3年12月議会において、本市を訪れる観光客や初めて本市を訪れたいという観光客に						
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	本市を選んでもらえるよう観光地域づくり候補法人(候補DMO)と行政が連携し、候補D│						
からどのような意見・要望がありますか?	MOが行う事業を一つ一つ展開してもらいたいとの要望がありました。						

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

-	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組					
ı		現状維持により対象外					
-		SUMMED TO THE STATE OF THE STAT					
١							
١							

2. 事務事業の事後評価【Check】

T. J. 33 J. MCo. J. McH. Im Foundaries			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない			向上した
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
令和5年3月31日に地域DMO			
	成果向上余地がある程度ある		

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	①目標達成に向けて必要となる取組内容
観光消費額は新型コロナウイルス感染症の拡大前と同程度となり、	プロモーション強化、地域滞在環境の向上事業の実施、PDCAサ
目標に達した。	イクルを実践しながら課題解決を図る。
日帰りでの旅行者が多く、宿泊者数の目標には至らなかった。	

	(1)事務	事業の評値	西結果	(2)今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
E					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
相追归	中		0			
B	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

車型	務事業名	観	光事為	と 香剤	この連携強化事業					本年度担当課	観光推進課		
争的	伊未伯									前年度担当課 観光推進課			
	基本目標	票02	新た	な流れ	れの創造による期	最わうまちづく	IJ			新規・継続	継続事業		
政策	政策	01	観光	とコ	ンベンションによ	こる賑わいと活	力あるまちづくり			実施計画・一般	実計計画事業		
体系	施策	01	ひと	を集む	める観光戦略の屈						市単独事業		
	基本事業 01 積極的な誘客を図る観光戦略の推進								業	任意・義務	任意的事業		
予算	会計	款	項	目		予算事	業名	[×	実施方法	一部委託		
科目	一般	07	01	04	観光事業者との	連携強化事業		3	分	事業分類	その他市民に対する事業		
古典引西 光左连绵儿怎儿 古典知思 亚代10左后						事業期間	亚式10年度。			市長公約	3 - (5)		
す :	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成19年度 ~								総合戦略	該当なし			
根拠	法令・条	例等	なし	,									

1. 事務事業の現状把握【DO】

1.	事務事業の現状把握【DO】												
(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標												
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	₹)					
	観光誘客における観光事業者との連携において、	4月、5月、6月、11月、											
	佐野プレミアム・アウトレットと連携し、アウト	まるっとマルシェ」を閉	胃催し 力	た。名	産品や農	産物等の	販売及び	PR冊子のi	配布を行				
	レット内での観光PR事業を展開することにより	った。											
	、市内各所の観光スポットへの誘客及び回遊性を												
	高める。												
	また、観光エージェントへのツアー造成の働きか												
	けを行う。 佐野市観光協会に業務委託。	活動指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)				
	性が川既ル伽云に未効安心。	観光PR回数		回	4	7	<u>(口1汞)</u> 9	<u>(口1汞)</u> 9	<u>(口1赤)</u> 9				
		打合せ回数		<u> </u>	8	10	10	10	10				
					_								
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)											
	全国人口	対象指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度					
				(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)					
		国内の総人口	千人	125, 502	124, 947	_	_	_					
		(人口推計10/1)											
目	②辛四 / = の事改事業に L-ケー 対象 たじの Lュナ		1										
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような)										
	本市の魅力を広くPRするため、各種ツアーの企画誘致などを図り、本市に来ていただく。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
	四島以などを囚り、本川に木といたにく。	観光協会企画ツアー利		目標	600	100	110	120	130				
		用者総数	人	実績	84	64	110	120	100				
		713 12 110 334		目標									
				実績									
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)												
	本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもら	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
	う。		十四	\vee									
		市の観光入込客数	千人	目標	10,000	8, 500	8, 600	8, 700	8, 800				
		ニレビ (人団カルリ)		美領	6, 503	6, 429 30	35	40	45				
		テレビ(全国ネット) が取り上げた件数	件	目標 実績	25 22	28	35	40	45				
	。	// 4X ツエリ /ご 女		大限		20							

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R 7 年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		299		0		0		0
		一般財源	千円	299			0		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		299		299		0		0		0
		事業費の 内訳		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業費					委託料	299						
入													
量													
			千円										
		内訳											
	싰	職員従事工数	人工		0. 11		0. 11		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		806		802		0		0		0
	<u></u>	ルコスト (A) + (B)	千円		1, 105		1, 101		0		0		0

事務事業名	観光事業者との連携強化事業	本年度担当課	観光推進課
争伤争未 有		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成19年3月に作成された佐野市総合計画の中で、観光事業者との連携強化の具現化として開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように	平成30年度より佐野プレミアム·アウトレットと連携し、アウトレットで観光PR事業を展開できることになった。
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	新都市地区への来訪者を市内や市北部中山間地域へ誘導するよう要望がある。
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u></u>	_
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組	
	事業のやり方改善(成果向上の見直し)	佐野プレミアム·アウトレットにおける継続的な観光PRの実施。	
- 1			ı

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 予切予末の予及計画【oncon】			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	向上しなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
当初実施を予定していた7月8月は	成果向上余地がある程度ある		

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
新型コロナウイルス感染症の対策を行いながらイベントを実施した	継続的なイベントの実施。
が、コロナの影響もあり、従来通りの来場者数までとはいかなかっ	
たと思われる。	

	o. II mid X O No 10 C 7 K O 27 1 7 T E No c 1 O 12									
	(1)事務	事業の評価	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策				
	大				現状維持(従来通り実施)					
E	▮				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。					
	票									
	室 中		0							
Æ	₹ .									
	小									
		大	中	小						
		成	果向上余	地						

						カチホヽ	117777			
車数	マ車サク	観光推進事業							本年度担当課	観光推進課
争的	事務事業名							前年度担当課	観光推進課	
	基本目標	02	新たフ	な流れ	れの創造による馴	張わうまちづく	IJ		新規・継続	継続事業
政策	政策	01 1	観光。	とコ	ンベンションによ	よる賑わいと活	力あるまちづくり		実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01 7	ひとる	を集る	める観光戦略の展	展開		事	市単独・国県補助	市単独事業
	基本事業	01 7	責極 的	的な	誘客を図る観光戦	战略の推進		業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	皿		予算事	業名	区	実施方法	直営
科目	一般	07	01	04	観光推進事業			分	事業分類	その他内部事務事業
車:	業計画	単年度繰り返し			: 編 11 25 1	事業期間 平成21年度 ~			市長公約	該当なし
尹:	未引四				、深り返し	尹未州间	業期間 平成21年度 ~		総合戦略	該当なし
根拠	根拠法令・条例等									

1. 事務事業の現状把握【DO】

',	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
	1)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
$ \mathbb{I}$)手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)							
	(観光推進基本計画の推進)	多言語看板を2か所設置	置した	(唐沢)	口駐車場	、たぬま	ふるさと	館)。	
	地域経済の活性化と活力にあふれた地域社会の創	佐野市観光推進基本計画							_
	造を目指し、市をあげて観光推進を図る。								-
	(計画に基づく事業の展開)								
	計画に沿った事業展開を実施するための調査								
	、研究及び事業の全庁的な進捗管理を行う。	江利北神		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		活動指標		甲型	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		新規多言語看板設置箇所	斤数 📗	箇所	2	2	2	2	2
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)							
	観光客、外国人観光客	対象指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
					(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		観光客入込数		千人	6, 503	6, 429	,	8, 700	8, 800
		観光客宿泊数		人	40, 914	56, 943		61, 000	62, 000
目		外国人宿泊数		人	438	521	1, 100	1, 200	1, 300
的	③思凶(この事務事業にようし、対象をとのような	状態にしたいのですか?)						
H	本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもら	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	う。	***************************************	+12						
		市の観光客入込数	千人	日標	10, 000	8, 500	8, 600	8, 700	8, 800
			1 /		6, 503	6, 429			
		市の観光客宿泊数	人	目標	50, 000		61, 000	62, 000	63, 000
L			_ ^ `	実績	40, 914	56, 943			
4)結果 (どのような結果に結びつけますか?)								
	佐野市に訪れてもらう。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	佐野市に宿泊してもらう。		T 12	/					
		市の観光客入込数	千人	<u>目標</u>	10, 000	8, 500	8, 600	8, 700	8, 800
			' ' \	実績	6, 503	6, 429	04 000	00 000	00.000
		市の観光入込客数	人	目標	50, 000	,	61, 000	62, 000	63, 000
				実績	40, 914	56, 943			
,	○〉 松市世典の世段 「中記								

		財源内訳	単位	R 3 年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R 7 年度((目標)			
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0			
		県支出金	千円		0		0		0		0		0			
		地方債	千円		0		0		0		0		0			
		その他	千円		0		0		0		0		0			
		一般財源	千円		233		370		0		0		0			
	事	事業費計(A)	千円		233		370		0		0		0			
	業	事業費の		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費			
投	費						委託料	220								
入	貝					需用費	137									
量						旅費	13									
			カ訳 十円	千円												
		内机														
	싰	職員従事工数	人工		0.4		0. 33		0		0		0			
	費	人件費計(B)	千円		2, 931		2, 405	•	0		0		0			
	<u></u>	ルコスト (A) + (B)	千円		3, 164		2, 775		0		0		0			

=	事務事業名	観光推進事業	本年度担当課	観光推進課
=	尹衍尹未石		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成21年に佐野市総合計画中期基本計画のリーディングプロジェクトとして、「観光立市の推進」が位置づけられた。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	国において平成19年に観光立国推進基本法施行と観光立国推進基本計画策定、平成20年観光庁設立、県は観光とちぎづくりを推進するため、平成18年に観光立県とちぎ推進本部設置、令和3年観光立県とちぎを目指し、新とちぎ観光立県戦略が策定された。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	現状維持のため対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 予防予末の予及計画【OIICON】								
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地					
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない					
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果					
類似事務事業はない			向上しなかった					
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地					
	※ 4人が担がは木の7年出							

①A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由 ①目標達成に向けて必要となる取組内容 新型コロナウイルス感染症の影響が残っており、目標に達すること 新たな観光資源・ルートの開発やイベント等の復活 ができなかった。

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

車務車業マネジメントシート

	サ切ず木、イングン・フー													
車数	事業名	さの秀郷まつり開催支援事業							本年度担当課	観光推進課				
争物	争未有							前年度担当課	観光推進課					
	基本目標	02	新たフ	な流れ	れの創造による ^脈		新規・継続	継続事業						
政策	政策	01	観光。	とコ:	ンベンションによ	はる賑わいと活:	カあるまちづくり		実施計画・一般	一般事業				
体系	施策	01	ひとる	を集と	める観光戦略の屈	長開			市単独・国県補助	市単独事業				
	基本事業	01	積極的	的な記	秀客を図る観光戦	战略の推進		業	任意・義務	任意的事業				
予算	会計	款	項	目		予算事	業名	区	実施方法	直営				
科目	一般	07	01	04	さの秀郷まつり	開催支援事業		分	事業分類	支援事業				
車:	業計画			- 年	繰り返し	平成5年度 ~		市長公約	該当なし					
一 争:	未計凹		早	十段	.秣り返し		総合戦略	該当なし						
根拠	法令・条件	列等	なし	,						·				

- 1. 事務事業の現状把握【DO】

	(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標											
	1):	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
	ſ	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	<u>;</u>)				
	Ī	東国における武芸の祖として武士たちに崇められ	新型コロナウィルス感染	と拡大の	方止の:	ため開催	中止						
		た弓術の達人・藤原秀郷を称えて開催される「さ											
		の秀郷まつり」を支援することにより、観光誘客											
		を図る。											
			会議開催回数		回	3	8	30	30	30			
			現場作業			0	0	60	60	60			
	- 1	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)										
		市民及び市外の観光客	対象指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
		(建叶春节春日片)			(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)				
		(補助金対象団体) さの秀郷まつり運営委員会	市民及び近隣住民	人	350, 000	350, 000	350, 000	350, 000	350, 000				
		この 方脚な フッ 庄古安良女											
	■	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	· :状態にしたいのですか?	')									
F	KI L	①市民の活動の場とする。				D0 & dt	D4 45 65	DC #= #=	DC #= #=	D7 #= #=			
		②市民の郷土愛を育む。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		③中心市街地の活性化。	まつり来観者	人	目標	90, 000	90, 000	80, 000	80, 000	80, 000			
		④商工業の活性化を図り、産業の振興に寄与する			実績	0	0						
		0 @######			目標								
H	_	⑤佐野市のPR は男(じのようなは思にはびつはままから)			実績								
ľ	~ -	結果(どのような結果に結びつけますか?) 本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもら											
		本市の魅力を知りてもらい、未初、相泊してもら う。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
			市の観光入込客数	T 1	目標	10, 000	8, 500	8, 600	8, 700	8, 800			
				千人	実績	6, 503	6, 429	,	,	,			
			テレビ(全国ネット)	人	目標	25	30	35	40	45			
			が取り上げた件数	_ ^	実績	22	28						
			が取り上げた件数		実績	22	28						

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0	0		0			0	0	
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0	•••••	0	0			0		0
		一般財源	千円		0		0		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		0		0		0		0		0
	業	事業費の 内訳		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費												
入	頁												
量													
			千円										
		內訳											
	싰	職員従事工数	人工		0. 35	0. 35 0. 35			0		0	0	
	費	人件費計(B)	千円		2, 564		2, 550		0		0		0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		2, 564		2, 550		0		0		0

事務事業名	さの秀郷まつり開催支援事業	本年度担当課	観光推進課
尹衍尹未 仁 		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成5年に、それまでの七夕まつりを引き継ぐ形で開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は	経済の悪化に伴い、駅前商店街が中心で行っていた七夕まつりを引き継いだ。開始当初は市 民総参加をうたい、多くの市民を動員したが、経済不況による資金不足により参加できるイ
事務事業の開始時期と比べてどのように	ベントを縮小している。第16回(平成20年度)から、まつりの目玉として秀郷流流鏑馬
変化していますか?	を導入している。
③この事務事業に対して、当該年度中、	伝統を引き継ぎつつ、マンネリ化しないようなイベントを企画する必要がある。より多くの
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	市民が関われるようなまつりにすることが重要。大勢の方が清掃に参加し、行政と市民の協
からどのような意見・要望がありますか?	働が感じられた。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	新型コロナウィルス感染拡大により中止となったため、特に取組みができなかった。

2. 事務事業の事後評価【Check】

E. TINTROTENIA			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	業務全てを委ねられる・委ねられ る可能性がある	対象を見直す必要がある	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業があり統合・連携で きる・している	くずう原人まつり・たぬまふるさ と祭り	成果向上余地がかなりある	取組むことができなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
新型コロナウイルス感染症の影響 	<i>のため</i>		成果向上余地がかなりある
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容
新型コロナウイルス感染症の影響	のため。	お祭りの再開。	

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				事業のやり方改善(成果向上の見直し)	検討部会、検討委員会を通じて、内容について検 討する。
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
	中				検討部会を設置し、内容全般について検討する。	
成	-					
度	小	0				
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

	デカデ木 トイン・フェー													
中 3公	事業名	どまんなかフェスタ佐野開催支援事業							本年度担当課	観光推進課				
す が	争未石							前年度担当課	観光推進課					
	基本目標	02	新たフ	な流れ	れの創造による馴		新規·継続	継続事業						
政策	政策	01 1	観光。	とコ:	ンベンションによ	よる賑わいと活.	カあるまちづくり		実施計画・一般	一般事業				
体系	施策	01 7	ひとる	を集る	める観光戦略の展	展開		事	市単独・国県補助	市単独事業				
	基本事業	01 7	漬極 6	的な	誘客を図る観光戦	战略の推進		業	任意・義務	任意的事業				
予算	会計	款	項	目		予算事	業名	区	実施方法	直営				
科目	一般	07	01	04	どまんなかフェ	スタ佐野開催す	支援事業	分	事業分類	支援事業				
車:	* 라 파		出	- 年	: 編 11 25 1		市長公約	該当なし						
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成20年度 ~ 総合戦略 該当なし														
根拠	根拠法令・条例等なし													

	I. 事務事業の現状把握【DO】 (1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標													
_	(1 <i>)</i> 事務事業の手段・日的・桁乗・合指標 ①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)													
ľ		人们在由		/ 人 壬 🗆 /	ケー・ケー・ケー	+ ++	江丰古南	1\						
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度				つに土は	活動內谷	:)						
	どまんなかフェスタ佐野実行委員会に交付金を交	どまんなかフェスタ佐野	7天(173	公貝云(ル 活割									
	付し、どまんなかフェスタ佐野の開催を支援して いる。	・実行委員会の開催 ・令和4年11月6日に「と	: + / +			HZ OOOO ı	士.胆/出							
	(,0)	- 7和4411月0日に 12	エスルル	よかり、	エヘブ圧	E)ZUZZ]	を開催							
※どまんなかフェスタ佐野実行委員会は、どまん														
	体等により構成された組織。	江 北		34 IT	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度					
		活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)					
		会議開催回数		□	1	1	1	1	1					
		実行委員数		人	17	15	17	17	17					
L		広報チラシ配布数		枚	0	46, 000	46, 000	46, 000	46, 000					
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	[か?)												
	①市民	対象指標	単位	R3年度	R4年度			R7年度						
	②各参加団体	7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6		(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)						
	9	市民の数(人口)		116, 982		100	100	100						
		参加団体数	団体_	0	57	100	100	100						
I		観光客入込数		千人	6, 503	6, 429	8, 600	8, 700	8, 800					
É	コ ③意図(この事務事業によって、対象をどのような 内 このくが こしに参加していたがま、名用は活動の	仏態にしたいのですか?)											
	プロのイベントに参加していただき、各団体活動の 周知・活性化を促す。また、来場されたお客様に	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度					
		来場者数		目標	46, 000	10, 000	10, 000	10, 000	10, 000					
	会とする。	不物 日 奴	人	実績	0	20, 000	10, 000	10, 000	10, 000					
		佐野市観光協会ホーム	- "	目標	300	250	180	185	190					
		ページアクセス数	千件	実績	203	165								
(④結果(どのような結果に結びつけますか?)													
	本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもら	LAABK描	単位		D2左由	D4左座	DE左由	DC左由	D7左车					
	う。	上位成果指標	甲型		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度					
		観光客入込数	千人	目標		8, 500	8, 600	8, 700	8, 800					
			1 /		6, 503	6, 429								
				目標										
				実績										
	(4) 松市世界の世紀 中田													

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0	0		0		0		0	
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		0		3, 000		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円	0			3, 000		0		0		0
	業	事業費の 内訳		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費					負担金、補助	及び 3,000						
ᄉ	早											L	
量													
			千円									1	
		거하										1	
												l	
												L	
	ř	職員従事工数	人工		0. 41		0. 41		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		3, 004		2, 988		0	0		0	
	h-/	タルコスト (A) + (B)	千円		3, 004		5, 988		0		0	<u> </u>	0

事務事業名	どまんなかフェスタ佐野開催支援事業	本年度担当課	観光推進課
尹衍尹未有		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成20年度より「どまんなかフェスタ」と「佐野市産業まつり」を統合し、新たに「どまんなかフェスタ佐野」となった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	「どまんなかフェスタ2008」より経費削減や費用対効果を考慮し、事業内容の検討や参加者
県などの法令等、社会情勢など)は	からの出展料負担を新たに行った。
事務事業の開始時期と比べてどのように	※平成20年度~平成22年度は県から「わがまち自慢交付金」を受けている。
変化していますか?	※平成25年度~平成27年度は県から「わがまち協働推進事業」の交付金を受けている。
③この事務事業に対して、当該年度中、	新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けている商業、工業、農林業等事業者の支援。
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組				
	新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けている商業、工業、農林業等の事業者を支援す				
事業のやり方改善 (コストの見直し)	るため、出展料を前回開催時より減額した。				

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地				
結びついている	業務全てを委ねられる・委ねられ る可能性がある	妥当である	削減の余地はない				
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果				
類似事務事業があり統合・連携で きる・している	葛生原人まつり・たぬまふるさと 祭り	成果向上余地がある程度ある	向上した				
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地				
新型コロナウイルス感染症の影響 出展料を前回開催時より減額した	を強く受けている商業、工業、農 :。	林業等の事業者を支援するため、	成果向上余地がある程度ある				
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	①目標達成に向けて	必要となる取組内容				
	新型コロナウイルス感染症の対策を行いながらイベントを実施した 継続的なイベントの実施。 が、コロナ禍での開催ということもあり、従来通りの来場者数まで						

	(1)事務事業の評価結果			西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大			事業のやり方改善(コストの見直し)	実行委員への説明を十分に行い、変更点への理解 を得る必要がある。	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標					経費削減に向けて事業内容を検討するとともに、	
達	中		0		受益者負担を考慮した出展料の設定を行っていく	
成					0	
度						
	小					
		大	中	小		
	成果向上余地			地		

車務車業マネジメントシート

					771	DTAI	ヤングンドン	1		
車型	8事業名	関東菊花競技大会開催支援事業							本年度担当課	閱光推進課
争作	7 年 不 位								前年度担当課	閱光事業係
	基本目標	02	新たフ	な流	れの創造による賙	最わうまちづく	IJ		新規・継続	継続事業
政策	政 策	01	観光。	とコ	ンベンションによ	こる賑わいと活	カあるまちづくり		実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01	ひとる	を集る	める観光戦略の風	展開		事	市単独・国県補助	市単独事業
	基本事業	事業 01 積極的な誘客を図る観光戦略の推進						業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名	区	実施方法	直営
科目	一般	07	01	04	関東菊花競技大	会開催支援事業	Ė	分	事業分類	支援事業
車	幸中田	単年度繰り返し 事業期間 昭和4年度 ~						市長公約	該当なし	
す :	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 昭和4年度 ~						総合戦略	該当なし		
根拠	法令・条件	列等	なし	,				·		

1	事務事業の現状把握【DO】									
((1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標									
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)									
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)								
	関東菊花競技大会に補助金を支出している。また	(市の活動)・後援、協	品賛依輔	頁(9.	~10月	• 賞:	状下付申	請・判徴	求(9~	
	、関東菊花競技大会の開催支援(後援・協賛依頼	11月) 表彰式実施	拖支援							
	、賞状下付申請・判徴求、チラシ・ポスターの配	※チラシ・ポスターの酉								
	布、児童絵画展の依頼・審査依頼・集計、報告書	(関東菊花競技大会の								
	作成、表彰式の開催支援)を行っている。	│1月1日~23日 春E	3岡山第	忽宗寺:	境内にて	· 表彰:	式の実施	(11月	23日、	
		春日岡山惣宗寺にて)								
	※関東菊花競技大会は、晃陽会・佐野市主催の菊	活動指標		単位	R3年度			R6年度	R7年度	
	の競技大会であり、昭和4年の第1回大会以来―		,		(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	
	度も欠かすことなく開催されてきた歴史ある大会	後援依頼事業所・団体数		件	9	9	9	9	9	
	である。	賞状依頼事業所・団体数		件	25	25	25	25	25	
		児童絵画展への作品応募	・ 教	枚	_	_	110	120	130	
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)								
	①菊愛好家	対象指標		単位	R3年度			R6年度	R7年度	
	②市民				(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	
	③観光客	菊愛好家数		<u> </u>	10,000	10,000	10, 000	10, 000	10, 000	
	(支援対象団体)	市民の数(人口)			116, 982		- 0.000	- 700		
目	関東菊花競技大会	観光客入込数		千人	6, 503	6, 429	8, 600	8, 700	8, 800	
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	:状態にしたいのですか? -	')							
	①匊変好豕の恵識问上	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	②市民の社会情操教育と文化の向上、菊花栽培の	***************************************					}			
	観賞と普及発展	菊花出品数	品	目標	1, 200	1, 200	1, 200	1, 200	1, 200	
	③観光誘客、菊花栽培の観賞と普及発展	立相 ** **		実績	1, 200	1, 200	20, 000	20, 000	20, 000	
		来場者数	人	目標		30, 000	30, 000	30, 000	30, 000	
	 			実績	29, 000	29, 000				
4	結果(どのような結果に結びつけますか?) 「大きの飲みされ、あるよう」 まき ワンドレスカミ									
	本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもら	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	う。	知业宏 2 *2 *b		- H	10, 000	0 500	8, 600	8. 700	8, 800	
		観光客入込数	千人	目標実績	10, 000 6, 503	8, 500 6, 429	0, 000	0, /00	0, 000	
				 天根 目標	0, 503	0, 429				
				実績						
	<u> </u>	L	I	大帜						

		心于不良切几		אמני									
		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R5年度((目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
	l	国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
	[地方債	千円		0		0		0		0		0
	[その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		1, 000		1, 000		0		0		0
	#	事業費計(A)	千円		1, 000		1, 000		0		0		0
	事。			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
	業費					負担金、補助及	び 1,000						
入	貝												
量													
		事業費の 内訳	千円										
		内訳											
	싰	職員従事工数	人工		0. 12		0. 12		0		0		0
	件 費	人件費計(B)	千円		879		874		0		0		0
	トータ	!ルコスト (A) + (B)	千円		1, 879		1, 874		0		0		0

事務事業名	関東菊花競技大会開催支援事業	本年度担当課	観光推進課
争伤争未有		前年度担当課	観光事業係

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	昭和4年に菊愛好家が集い設立した晃陽会が、社会情操教育、文化の向上、菊花栽培鑑賞及び普及発展を図り、もって佐野市の観光行政の発展のために開催した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	菊愛好家の高齢化により、菊花の出品点数が減少傾向にある。
県などの法令等、社会情勢など)は	
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	菊愛好家の高齢化により、菊花の出品点数が減少傾向にある。
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

1 7 100 1 100 1 101 101 111 111 111 111	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない	事務事業はない 成果向上		取組むことができなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
前年度評価結果が「成果向上余地	成果向上余地がない		
⑩ ∧ 丰のは甲指揮の日煙が達成	必要したる取組内容		

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容
新規の菊愛好家の参加はなかったが、これまで参加していた愛好家	菊愛好家の増加	
が予定通り参加できたため。		

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大			0	現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達	中					
成						
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

					771	カザ木へ	ヤンアンドン	1		
車数	で車条々	スフ	プリン	ノグフ	フラワーフェステ	ィバル開催支持	爰事業		本年度担当課	観光推進課
= 13	事務事業名								前年度担当課	観光推進課
	基本目標	02	新たフ	な流れ	れの創造による ^脈	張わうまちづく	IJ		新規・継続	継続事業
政策	政策	01 1	観光。	とコン	ンベンションによ	よる賑わいと活	カあるまちづくり		実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01 7	ひとる	を集と	める観光戦略の屈	展開		事	市単独・国県補助	市単独事業
	基本事業	01 1	漬極 6	的な詞	誘客を図る観光戦	战略の推進		業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	皿		予算事	業名	区	実施方法	直営
科目	一般	07	01	04	スプリングフラ	ワーフェスティ	ィバル開催支援事業	分	事業分類	支援事業
車:	東紫江南 第左连绵八万 東紫如即 亚代二左连								市長公約	該当なし
尹:	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成元年度 ~									該当なし
根拠	法令・条件	列等	なし	,						

1. 事務事業の現状把握【DO】

1	. 事務事業の現状把握【DO】									
(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標									
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)									
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)		
	佐野スプリングフラワーフェスティバル実行委員	佐野スプリングフラワー	-フェ	スティ	バル実行	委員会へ	交付金支	出(1,900	0,000円	
	会を設置、同委員会へ交付金を支出する。同委員)								
	会がイベントを主催する。	(実行委員会の活動)								
	【イベント概要】日本有数の規模でかたくりの花	佐野スプリングフラワーフェスティバル実行委員会開催								
	が群生する「万葉自然公園かたくりの里」での「	佐野スプリングフラワー								
	かたくりの花まつり」をメインに春の花をテーマ	安全対策のため警備員を	·設置、	佐野						
	一にしたスプリングフラワーフェスティバルを開催	活動指標		単位		R4年度	7 7		R7年度	
	することにより、本市の美しい自然を市内外に紹				(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	
	介し、誘客を図る。	会議・打ち合せ回数		回	1	11	10	10	10	
		広報・宣伝回数			5	11	10	10	10 12	
	○ 1	準備回数 -4:00			5	12	12	12	12	
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?) 			D0 /= ri=	D4 #= #=	DC #= #=	DC #= #=	D7 /= rit	
	市民、観光客	対象指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度	R7年度	
				1	 (美 根) 116, 982		(日保)	(目標)	(目標)	
		市民の数(人口) 観光客入込数		<u>人</u> 千人	6, 503	6, 429		_		
		11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.		十八	0, 303	0, 423				
目		L と状能にしたいのですか?	,)							
的	多くの市民・観光客に佐野の春の花をたのしんで									
	多くの市氏・観光者に位野の者の化をためとんと	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
		かたくりの里駐車台数	<i>'</i>	目標	3, 000	3, 000	3, 000	3, 000	3, 000	
			台	実績	2, 080	1, 136				
				目標						
				実績						
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)									
	本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもら	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	う。		+12	<u>/</u>						
		観光客入込数	千人	目標	10, 000	8, 500	8, 600	8, 700	8, 800	
			- '	美領	6, 503	6, 429				
				目標						
				実績						
(2) 絵事業費の推移・内訳									

		財源内訳	単位	R3年度((実績)	R4年度	(実績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		1, 900		1, 900		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		1, 900		1, 900		0		0		0
	業	事業費の 内訳		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費					負担金、補助及	支び 1,900						
入	頁												
量													
			千円										
		7467											
	슸	職員従事工数	人工		0. 37		0. 37		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		2, 711		2, 696		0		0		0
	トーち	タルコスト (A) + (B)	千円		4, 611		4, 596		0		0		0

事務事業名	スプリングフラワーフェスティバル開催支援事業	本年度担当課	観光推進課
尹衍尹未 石 		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	昭和62年に市がかたくりの群生を天然記念物に指定し約10haを「万葉自然公園かたく」 りの里」として整備、平成元年から「かたくりの花まつり」を中心に城山公園桜のライトアープ等、春の花をテーマにスプリングフラワーフェスティバルを開催している。
	かたくりの花の開花期間が短くなってきており、花の数も減少している。また、当時は、かたくりの花を観光できる場所が少なかったことから多くの来場者があったが、近年ではそうした場所も増えてきており、来場者も減少傾向にある。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	人口減少、高齢化等に伴い、地元町谷町会からは、駐車場警備等の人員確保が難しくなって いる旨の意見がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

1 7 100 1 100 1 101 101 111 111 111 111	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 事務事業の事後評価【Check】					
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地		
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない		
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果		
類似事務事業はない		成果向上余地がない	向上しなかった		
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地		
現状維持により取組結果は無し			成果向上余地がない		
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容			
例年よりカタクリの開花時期が早	かったため。	開花時期の見極め。			

一個A衣の成業指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	切台保達成に向けて必安となる取組内谷
例年よりカタクリの開花時期が早かったため。	開花時期の見極め。

	(1)事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

車務車業マネジメントシート

					77-1	カチホヽ	ハンハント				
車数	事務事業名 さの新春うんめぇもんまつり開催支援事業								本年度担当課	観光推進課	
争務争未 名								前年度担当課	観光推進課		
	基本目標	02	新たフ	な流れ	れの創造による期	張わうまちづく	IJ			新規・継続	継続事業
政策	政策	01	観光。	とコ:	ンベンションによ	よる賑わいと活.	力あるまちづくり			実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01	ひとる	を集と	かる観光戦略の 屈	展開			事	市単独・国県補	市単独事業
	基本事業	01	積極的	的な記	秀客を図る観光戦	战略の推進			業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	07	01	04	さの新春うんめ	えもんまつり閉	昇催支援事業		分	事業分類	支援事業
車:										市長公約	該当なし
尹:	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成28年度 ~									総合戦略	該当なし
根拠	法令・条件	列等	なし	,							·

- 1. 事務事業の現状把握【DO】

	(1	1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標								
	1)-	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	ſ	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)							
	Ī	さの新春うんめぇもんまつり実行委員会に対し、	令和5年1月8日に「第7回さの新春うんめぇもんまつり」が開催された。							
		運営費の一部を補助することにより、まつりを安								
		定的・発展的に実施してもらう。	市の活動							
		これにより市の魅力を広くPRし、観光誘客を促	実行委員会への参画、神	朝助金の	の支出	、当日ス	タッフと	して従事		
		進するとともに、まちなかの活性化を図る。								
		ウィチョムまなロ				D0 	D4 ====		D0 	D7 /
		実行委員会事務局	活動指標		単位	R3年度	7 7	1 1	R6年度	R7年度
		佐野商工会議所経営支援課	実行委員会開催回数		□	<u>(実績)</u> 0	<u>(実績)</u> 3	<u>(目標)</u> 3	<u>(目標)</u> 3	<u>(目標)</u> 3
		市関係課	まつり開催回数			0	1	1	1	1
		観光推進課、産業政策課、広報ブランド推進課	よりが開催自致		ᄪ	0				-
		②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	·か?)							
	- 1	①市民及び市外からの観光客			*** * * * * * * * * * * * * * * * * * *	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		(関東地方及び新潟県+福島県:総務省10/1人口	対象指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		推計)	関東地方と近県の人口	千人	47, 550	47, 478	_	-	-	
		②さの新春うんめぇもんまつり実行委員会	実行委員会	団体	1	1	1	1	1	
١,	⋾ ├	(補助対象団体)								
	'nL	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	:状態にしたいのですか?	')						
	ונו	①市民に対して市の魅力を再認識していただくと	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		ともに、まちなかの活性化を図る。併せて、市外		丰四	/					
		からの観光客に対して市の魅力を発信する。	佐野市観光協会ホーム	千件	目標	300	250	180	185	190
		②まつりを安定的・発展的に実施してもらう。	ページアクセス数		実績	203	165	00.000	00.000	00.000
			来場者数	人	目標	20, 000	,	20, 000	20, 000	20, 000
L		サ田 / ドの L これ サ田 に 仕ばる は ナナもの)			実績	0	10, 000			
(~ -	結果(どのような結果に結びつけますか?)		I .						
		本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもら	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		う。	市の観光入込客数		目標	10, 000	8, 500	8, 600	8, 700	8, 800
			ロロマンドルノロノへとこって、外	千人	実績	6, 503	6, 429	0, 000	0, 700	0, 000
			テレビ(全国ネット)		目標	25	30	35	40	45
			が取り上げた件数	事業	実績	22	28	30	,,,	
_					, , , , , , ,					

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年	度(美	€績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0			0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0			0	0		0	
		地方債	千円		0			0		0		0	0	
		その他	千円		0			0		0		0		0
		一般財源	千円	0			200		0			0	0	
	事	事業費計(A)	千円	0			200			0		0	0	
	業			項目	事業費	項目		事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費	重業費の				負担金、補	助及び	200					L	
ᄉ													L	
量													<u> </u>	
			千円										l	
		7457											L	
													l	
													L	
	ř	職員従事工数	人工		0. 11		0. 11		0		0		0	
	費	人件費計(B)	千円	806		802		0		0		0		
	h-/	タルコスト (A) + (B)	千円		806			1, 002		0		0	<u> </u>	0

事務事業名	さの新春うんめぇもんまつり開催支援事業	本年度担当課	観光推進課
争伤争未有		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	佐野市への観光客は、厄よけ大師への参拝客等により1月が平月の3倍の集客である。新春を祝うまつりがなかったため、平成27年1月から民間によるまつりが実施されているが、観光誘客を更に推進するため、まつりを安定的・発展的に実施してもらう必要がある。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	国の観光立国宣言により、県及び市の観光戦略が大きく変化し、各市でも観光誘客事業に重
県などの法令等、社会情勢など)は	点を置いた施策を行っており、今後ますます加速するものと考える。
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	特になし
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u></u>
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	人件費削減のための事業内容の見直し
争業のやり万以普(成末向工の見直し)	

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地			
結びついている	市でなければできない	妥当である	人件費の削減余地がある			
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果			
類似事務事業があり統合・連携で きる・している	葛生原人まつり、たぬまふるさと 祭り	成果向上余地がある程度ある	向上しなかった			
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地			
事業内容の見直しを図ったが、人件費削減には至らなかった。 成果向上余地がある程度						
⑩△表の成里指標の日標が達成	できた理由 できかかった理由	⑪日煙達成に向けて必要となる取組内容				

新型コロナウイルス感染症の対策を行いながらイベントを実施した が、コロナ禍での開催ということもあり、従来通りの来場者数まで とはいかなかったと思われる。

⑪目標達成に向けて必要となる取組内容

	(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				事業のやり方改善(成果向上の見直し)	ボランティアスタッフ等を起用し、啓発を兼ねて 効率的な運営を行い、行政市民が一体となった祭
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。]り運営を行うことにより、成果向上及びコスト削 ┃
標					当日運営にボランティアスタッフの更なる動員を	減につながる。
達	中		0		図る。	
成						
度						
	小					
		大	中	小		
	成果向上余地			地		

	<u> </u>									
車級	事業名	三章	た山 昇	マダ	⋜焼き開催支援事	業			本年度担当課	観光推進課
争仍	争未有								前年度担当課制 観光事業係	
	基本目標	02	新たフ	な流れ	れの創造による馴	最わうまちづく		新規・継続	継続事業	
政策	政 策	01	観光。	とコ:	ンベンションによ	こる賑わいと活	カあるまちづくり		実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01	ひとる	を集と	める観光戦略の屈	展開		事	市単独・国県補	助 市単独事業
	基本事業	業 <mark>01│積極的な誘客を図る観光戦略の推進</mark>						業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名	区	実施方法	直営
科目	一般	07	01	04	三毳山大文字焼	き開催支援事業	Ė	分	事業分類	支援事業
車:	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成28年度 ~								市長公約	該当なし
学术計画 半十度株り返し 学末期间 十成20年度									総合戦略	該当
根拠	法令・条件	列等	なし	,				·		

1. 事務事業の現状把握【DO】

	·) 事務事業の手段・目的・結果・各指標		_									
((1)	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
		事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)				
	Ī	夏の風物詩として平成6年から続けられている「	8月15日開催予定であっ	たが、	現場不	良により	準備途中	にて中山	 :決定。				
		三毳山大文字焼き」は、北関東で唯一行われてい	令和4年度にて事業廃止	を決定	:。これ	これに伴い現場資材等の撤去を実施。							
		る大文字焼きであるため、開催を支援することに											
		より観光誘客を図る。											
			活動指標		単位	R3年度		R5年度	R6年度	R7年度			
						(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
			運営委員会・実行委員会	È	回	1	3	_	_	_			
			まつり開催回数		П	0	0	_	_				
H	-	○公会 / = の声改声サはサーロナン会し、インナナ	<u> </u>										
	- 1	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?) 			D0 & d+	D4 #= #=	DC #= #=	DC #= #=	D7 #= r#=			
		市民及び市外からの観光客(関東地方及び新潟県	対象指標		単位	R3年度		R5年度	R6年度	R7年度			
		+福島県:総務省10/1人口推計)	市民及び市外からの観光	4 宏	千人	<u>(実績)</u> 47.550	<u>(実績)</u> 47.478	(目標)	(目標)	(目標)			
		(補助対象団体) 三毳山大文字焼き運営委員会	市民及び印外からの観力 運営委員会・実行委員会		<u> </u>	47, 000	47, 470						
		二钱山八人十烷已建四安貝云	建古女貝式 天门女貝式	5	四本	· ·	'						
	타	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	L と 大能にした いのですかっ)									
E		① 市民に対して市の魅力を再認識していただくと											
		ともに、市外からの観光客に対して市の魅力を発	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		信する。	佐野市観光協会ホーム		目標	400	400	_	_	_			
		②まつりを安定的・発展的に実施してもらう	ページアクセス数	千件	実績	203	165						
			来場者数		目標	0	1, 500	_	_	_			
			10212	人	実績	0	0						
	<u>4</u>	結果 (どのような結果に結びつけますか?)			, , , , , ,								
		本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもら		22/1		D0 4= d=	D4 5- 5-	DC #= #=	DC 4= 15	D7 /= rit			
		う。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
			観光客入込数	千人	目標	10, 000	8, 500		_				
				一人	実績	6, 503	6, 429						
					目標								
					実績								

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)	
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0	
		県支出金	千円		0		0		0	0		0		
		地方債	千円		0		0		0		0		0	
		その他	千円		0		0		0		0		0	
		一般財源	千円	0			495		0		0	0		
	<u>+</u>	事業費計(A)	千円	0			495		0		0	0		
	事			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
投	(質	事業費の 内訳				負担金、補助	」及び 495							
入														
量														
			千円											
		内訳												
	싰	職員従事工数	人工	0			0.14		0	0		0		
	骨費	人件費計(B)	千円		0		1, 020		0		0		0	
	h-5	タルコスト(A)+(B)	千円		0		1, 515		0		0		0	

	事務事業名	三毳山大文字焼き開催支援事業	本年度担当課	観光推進課
ı	争伤争未有		前年度担当課	観光事業係

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	三毳山大文字焼きは平成6年から始まり、これまで地元団体が主体となって実施してきたが、実行委員会の高齢化・弱体化により今後の実施が危ぶまれる状態となり、平成28年度より、市が共催することなった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は	国の観光立国宣言により、県及び市の観光戦略が大きく変化し、各市でも観光誘客事業に重点を置いた施策を行っており、今後ますます加速するものと考える。
事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	平成24年6月、地元実行委員会から市へ対してまつりへの協力依頼があり、この年は市の協力により実施した。その後、中止したい旨の協議があったが、平成25年に新たな実行委員会を組織し、また市が全面的に協力することで今日まで続いてきた。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 子奶子来00子及HILL TOHOGK				
①政策体系の整合性	①政策体系の整合性 ②実施主体の妥当性		④事業費・人件費の削減余地	
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない	
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果	
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	取組むことができなかった	
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地	
現場の悪状況により事業が中止と	なったため。		成果向上余地がない	
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容		
中止となったため。		次年度廃止		

ſ	中止となったため。	次年度廃止

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				廃止	
目	1				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中					
度	小			0		
		大	中	小		
	成果向上余地			地		

	<u> </u>									
車数	z 車 柴 夕	観光キャラバン事業						本年度担当課	観光推進課	
事物	事務事業名					前年度担当課	観光事業係			
	基本目標	02	新たフ	な流	れの創造による肌	表わうまちづく	IJ		新規・継続	継続事業
政策	政策	01 1	観光。	とコ	ンベンションによ	よる賑わいと活	力あるまちづくり		実施計画・一般	実計計画事業
体系	施策	01 7	ひとる	を集る	める観光戦略の屈	展開		事	市単独・国県補	助 市単独事業
	基本事業	01 7	漬極 6	的な	誘客を図る観光戦	战略の推進		業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名	区	実施方法	一部委託
科目	一般	07	01	04	観光キャラバン	事業		分	事業分類	イベント等開催事業
車:	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成10年度 ~						市長公約	3 - ⑤		
一 尹 :	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成10年度 ~					総合戦略	該当なし			
根拠	根拠法令・条例等									

1. 事務事業の現状把握【DO】

((1)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
(1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方) 令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)								
		6/17 ももクロライブ観光PR							
		9/10~11 「本物の出会				MARCHE			
		9/25 ツーリズムEXPOシ							
		10/23 両毛地域・東武	鉄道観	.光誘各	連絡会議	き 池袋キ	ーヤンペー	-ン	
		ほか 合計26回実施							
		工 和比 描		₩ / ⊥	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		観光キャラバン回数		□	3	26	27	28	28
	 ②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	4,0)							
	全国人口 全国人口	<i>N</i> ?)	Т		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		対象指標		単位	(実績)		(目標)	(目標)	(目標)
		国内の総人口		千人	125, 502		_	_	_
		(人口推計10/1)							
E									
的	③思凶(この事務事業によつし、対象をとのような	状態にしたいのですか?)						
	①佐野市の認知度向上 ②観光入込客数の増加	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		佐野市観光協会ホーム	千件	目標	400	400	450	450	450
		ページアクセス件数	1 11	実績	203	165	0.000	0.700	0.000
		観光客入込数	千人	目標	8, 400	8, 500	8, 600	8, 700	8, 800
	 			実績	6, 503	6, 429			
١)結果(どのような結果に結びつけますか?) 「本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもら								
	う。	上位成果指標	単位		R3年度		R5年度	R6年度	R7年度
		広域での連携事業数	事業	目標	10	15	15	15	15
			+ *	美績	2	13			
				目標					
				実績					

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R 7 年度((目標)				
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0				
		県支出金	千円		0		0		0		0		0				
		地方債	千円		0		0		0		0		0				
		その他	千円		0		0		0		0		0				
		一般財源	千円		199		199		0		0		0				
	<u>_</u>	事業費計(A)	千円		199		199		0		0		0				
	事			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費				
投	業費	事業費の					委託料	199									
入	\																
量																	
			T-1-1	千円													
	싰	職員従事工数	人工		0. 11		0. 11		0		0		0				
	費	人件費計(B)	千円		806		802		0		0		0				
	<u></u>	ルコスト (A) + (B)	千円		1, 005		1, 001		0		0		0				

事務事業名	観光キャラバン事業	本年度担当課	観光推進課
尹衍尹未有		前年度担当課	観光事業係

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	かたくりの里の整備に伴い、かたくりの里のPRのため開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	佐野市観光資源である、「佐野プレミアム・アウトレット」、「佐野厄除け大師」、「万葉自然公園かたくりの里」、「佐野ら一めん」等はキャラバンを実施することにより、関東全域で認知されつつある。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	都内を中心に新規開拓が必要

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

1 / W 1943 - W 1941 -						
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組					
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	新たに都庁内のスペースでキャンペーンを実施するなど新規開拓を行った。					

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 争切手来の手及計画 Loncon J						
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地			
結びついている	業務の一部を委ねられる・委ねら れる可能性がある	対象を見直す必要がある	削減の余地はない			
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果			
類似事務事業はあるが、統合・連 携できない	両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡 会議参画事業	成果向上余地がある程度ある	向上しなかった			
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地			
既存のもののみならず新規にキャンペーンを実施できたが、感染症の影響により向上しなかった 成果向上余地がある程度ある						
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容			
成込症の影響が残っていた		対象に合致した新担キャンペーン	の実施お上びPR方法の検討			

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
感染症の影響が残っていた。	対象に合致した新規キャンペーンの実施およびPR方法の検討。

	(-	1)事務	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
目	大				事業のやり方改善(成果向上の見直し)	成果指標の数値データを得るうえで、各所のデータ取得方法にブレがあり、その数値が反映されて
					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。] いる。正確な数値を得るための方法を検討する必
標達成	中		0			要がある。
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

	- デ切子木、ヤンノン・ノー															
古丞	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	, 観光パンフレット作成事業							本年度担当課	観光推進課						
争 的	争未有							前年度担当課	観光推進課							
	基本目標	02	新たフ	な流れ	れの創造による馴		新規・継続	継続事業								
政策	政策	01 1	観光。	とコ:	ンベンションによ	よる賑わいと活	カあるまちづくり		実施計画・一般	一般事業						
体系	施策	01 7	ひとる	を集る	める観光戦略の展		事	市単独・国県補助	市単独事業							
	基本事業	01 7	漬極 6	的な	誘客を図る観光戦	战略の推進		業	任意・義務	任意的事業						
予算	会計	款	項	目		予算事	¥名	区	実施方法	一部委託						
科目	一般	07	01	04	観光パンフレッ	ト作成事業		分	事業分類	その他内部事務事業						
車:	業計画		出	(年)	繰り返し		市長公約	該当なし								
尹:	未引四		#	十段	、深り返し		総合戦略	該当なし								
根拠	法令・条件	列等		根拠法令・条例等												

- 1. 事務事業の現状把握【DO】 (1)事務事業の手段・目的・結果・各指標

	(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標											
	1):	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
		事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	?)				
		観光パンフレットの作成及び配布	観光パンフレットの作成	-									
			(事業費の内訳) 佐野まるごと観光ガイド(マップ付) 4,000部 体験型宿泊施設ガイドマップ 700部										
			江 北		₩ / ⊥	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
			活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
			観光パンフレット作成音	ß数	部	18, 000	4, 700	3, 500	3, 500	3, 500			
	+	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	th 2)										
	H	パンフレットを要する人		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度					
			対象指標	単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)				
			人口(人口推計)	千人	125, 502	124, 947	124, 408	123, 844	123, 262				
E	⋾ ├	②辛回 /- の末夜末光にし マーゼのようか	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\										
	иL	③意図(この事務事業によって、対象をどのような 佐野市の観光スポットを知ってもらう。	状態にしたいのですか?	·)									
		佐野市の観光スポットを知ってもらり。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
			パンフレット配布部数	部	目標	29, 550	15, 000	15, 000	15, 000	15, 000			
				미	実績	13, 000	13, 100						
					目標								
	<u> </u>	は思(じのとうな妹思に妹びのはままかの)			実績								
	_	結果(どのような結果に結びつけますか?) 佐野市に訪れてもらう。											
		佐野市に宿泊してもらう。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
			市の観光入込客数			10,000	8, 500	8, 600	8, 700	8, 800			
				1 /	実績	6, 503	6, 429	01.000					
			市の観光宿泊客数	人	目標	50,000	,	61, 000	62, 000	63, 000			
					実績	40, 914	56, 943						

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R5年度((目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0	1	0
		県支出金	千円		0		0		0		0	0	
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円	954			641		0		0		0
	事	事業費計(A) 千円			954		641		0		0		0
		事業費の		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業費					需用費	641						
入	١ -												
量													
			千円										
		内訳											
	싰	職員従事工数	人工		0.08	0.1			0		0		0
	件	人件費計(B)	千円		586		729		0		0		0
	h-/	タルコスト(A)+(B)	h (A) + (B) 千円 1,540			1, 370		0		0		0	

ſ	事務事業名	観光パンフレット作成事業	本年度担当課	観光推進課
ı	争伤争未有		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	観光誘客の手段として開始しているが、観光としての基本事業であるため開始年度は不詳。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	観光客のニーズの多様化が進んでいる。外国人観光客の増加に伴い体験によるコト消費を求した。
県などの法令等、社会情勢など) は	める傾向が強くなっている。
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	より多くの分野のパンフレットを作成してほしい。
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	パンフレットが分散しているので、ひとつにまとめたほうが良い。
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

1 7 100 1 100 1 101 101 111 111 111 111	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地				
市でなければできない	妥当である	削減の余地はない				
類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果				
	成果向上余地がある程度ある	向上しなかった				
8取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地				
/ フレットにしていくことにより、	さらに向上の余地はある。	成果向上余地がある程度ある				
できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容				
リレットの消費数が増加したため。						
	あったパンフレットにしていくことにより、コスト削減を図					
	力的なパンフレットにする。					
	市でなければできない 類似事務事業の名称 ③取組結果の理由 フレットにしていくことにより、 できた理由、できなかった理由	市でなければできない 妥当である 類似事務事業の名称 ⑥成果向上余地前年度評価結果 成果向上余地がある程度ある ⑧取組結果の理由 フレットにしていくことにより、さらに向上の余地はある。 できた理由、できなかった理由 ①目標達成に向けて レットの消費数が増加したため。 紙媒体だけではなく、デジタルパ あったパンフレットにしていくこ				

	(-	1)事務	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大			事業のやり方改善(成果向上の見直し)	観光客の情報収集手段の主流がスマートフォンと なっている。紙のパンフレットを残しつつ、デジ	
目				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	タルパンフレットも考える必要がある。	
標					DX推進を図るため、紙だけでなく電子パンフレ	
達				ットを作成することを検討		
成						
度						
	小					
	大 中 小			小		
		成	果向上余	地		

	丁切 ナベ・イン・フィン													
車数	事業名	佐野市観光協会支援事業							本年度担当課	観光推進課				
争伤	争未有								前年度担当課	観光事業課				
	基本目標	02	新たフ	な流れ	れの創造による馴	最わうまちづく	IJ		新規・継続	継続事業				
政策	政策	01 1	観光。	とコ:	ンベンションによ	る賑わいと活	力あるまちづくり		実施計画・一般	一般事業				
体系	施策	01	ひとる	を集る	める観光戦略の屈	事	市単独・国県補	助 市単独事業						
	基本事業	01 7	積極的な誘客を図る観光戦略の推進						任意・義務	任意的事業				
予算	会計	款	項	目		予算事	業名	区	実施方法	直営				
科目	一般	07	01	04	佐野市観光協会	支援事業		分	事業分類	支援事業				
車	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成16年度 ~								市長公約	該当なし				
77	未可凹		7	十岁	派り返し		総合戦略	該当						
根拠	根拠法令・条例等													

1 事務事業の現状把握【DO】

1.	事務事業の現状把握【DO】												
(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標												
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	<u>!)</u>					
	佐野市観光協会への補助金交付事業	観光協会が実施する事業への協力支援 野市の観光誘客の向上を 【協会の実績】											
	※佐野市観光協会は、佐野市の観光誘客の向上を												
	目指し、観光資源の発掘、観光PR事業を積極的								_				
	に展開する。また観光物産会館を中心とした特産 ※佐野市観光物産会館・みかも山観光物産会館指定管理、地域DMOへ登録 南日の開発等の東業展開を持続的に図る。												
	商品の開発等の事業展開を積極的に図る。												
		Webサイトアクセス数		回/日	1, 226	1, 135	1. 200	1, 220	1, 240				
		X(Twitter)フォロワー数	女	人	3, 861	4, 485	4, 700	5, 000	5, 300				
		観光イベント開催回数			2	2	2	2	2				
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)											
	一般社団法人佐野市観光協会	対象指標	単位	R3年度			R6年度	R7年度					
				(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)					
		正会員数	社	212	230	235	240	245					
目	 ③意図(この事務事業によって、対象をどのような	<u> </u> 	<u> </u>										
的	佐野市のPR、観光客の増加	 											
	佐野川のアス、航光谷の塩加 	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
		市の観光客入込数	- 1	目標	10, 000	8, 500	8, 600	8. 700	8. 800				
			千人	実績	6, 503	6, 429	,	,	,				
				目標									
				実績									
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)												
	本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもら	上位成果指標	単位	/	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
	う。												
		市の観光客入込数	千人	目標実績	10, 000 6, 503	8, 500 6, 429	8, 600	8, 700	8, 800				
		 市の観光宿泊客数	_	目標	50, 000	60, 000	61, 000	62, 000	63, 000				
		11.47 机几日口11.日 3	人	実績	40, 914	56, 943	31, 000	32, 000	30, 000				

		心中不良切几		710/									
		財源内訳	単位	R3年度((実績)	R4年度((実績)	R5年度((目標)	R6年度	(目標)	R7年度	(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0	0		0			
	事	その他	千円		0	0			0		0		0
		一般財源	千円		4, 350		4, 350		0		0		0
		事業費計(A)	千円		4, 350		4, 350		0		0		0
		事業費の 内訳		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
权	貸 					負担金、補助及	び 4,350						
入													
量													
			千円										
		內訳											
	쇼	職員従事工数	人工		0. 17		0. 1		0		0		0
	骨費	人件費計(B)	千円		1, 246		729		0	0		0	
	トータルコスト (A) +		千円		5, 596		5, 079		0		0		0

事務事業名	佐野市観光協会支援事業	本年度担当課	観光推進課
尹衍尹未 石 		前年度担当課	観光事業課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	昭和30年頃、市で対応しきれない観光分野を観光協会が継承拡大してきた。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	社会における価値観やライフスタイルの多様化などにより、観光の形態も団体型から個人型が主流になってきており、多様な価値観やニーズに対応した着地型観光商品を造成することで地域活性化につなげる取組など、それぞれのニーズに合った観光サービスの提供が求められている。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	佐野市には恵まれた観光資源があるのだから、もっとそれらを活かす施策をしてほしい。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組					
	観光PR方法の再検討:SNSを利用してイベントや観光スポット情報を紹介した。観光客が情報発信者となるようなインスタグラムの写真コンテストを実施した。					

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 予切于未07于区时间【010011】						
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地			
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない			
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果			
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	向上しなかった			
		⑨事務事業の成果向上余地				
SNS、WEBを通してPRしたが、成果は大きくなかった。 成果向上余地がある程度ある						
⑩ A 表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由 ⑪目標達成に向けて必要となる取組内容						
新型コロナウイルス感染症が拡大する前は、大型バスで多くの観光 一過性の地域でなく、観光客のリピート化が図れるよう滞在環境の						

	成果向上余地がある程度ある
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
新型コロナウイルス感染症が拡大する前は、大型バスで多くの観光	一過性の地域でなく、観光客のリピート化が図れるよう滞在環境の
客が佐野市を訪れていたが、まだ戻ってきていない。	向上、快適な空間の提供や高品質な選択メニューを増やす。

	, p	HILIMA ON MITE TOURING							
	(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策			
	大				事業のやり方改善(コストの見直し)	採算が取れる事業の実施、会員数の増加			
I	⋾ ∟				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。				
	票				自立した経営を目指す				
	中		0						
	戊[
J.	刨								
	小								
		大	中	小					
		成	果向上余	地					

	<u> </u>									
市级	市坐夕	観光 P R 車維持管理事業							本年度担当課	観光推進課
事務事業名								前年度担当課	観光推進課	
	基本目標	02 ₹	新たれ	な流	れの創造による馴	表わうまちづく	IJ		新規・継続	継続事業
政策	政策	01 1	観光。	とコ	ンベンションによ	る賑わいと活	カあるまちづくり		実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01 7	ひとる	を集る	める観光戦略の展	展開		事	市単独・国県補助	市単独事業
	基本事業	01 1	責極 的	的な	誘客を図る観光戦	战略の推進		業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名	区	実施方法	直営
科目	一般	07	01	04	観光PR車維持	管理事業		分	事業分類	施設維持管理事業
車:	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成22年度 ~					市長公約	該当なし			
尹:						総合戦略	該当なし			
根拠	根拠法令・条例等									

- 1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標								
(1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)							
	観光PR活動の一環として、広告を掲載した観光	市主催の各種イベントな	i どをi	重搬す	るため、	活用した			
	PR車を、市内外のイベント等で活用を図る。ま								
	た適切な車両の維持管理を行う。								
					DO左曲	DA左击	DC左击	DC左击	D7左曲
		活動指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
		イベント等使用実績			(大限) 1	3	5	5	<u>(日1宗)</u> 5
		1 7 7 7 10/11/2/19				J			
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)							
	関東地方及び近県住民	対象指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	(1都6県+福島県+新潟県)			. —	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		関東地方と近県の人口		千人	47, 550	43, 535	42, 000	41, 000	40, 000
		<u>(人口推計10/1住基台</u>	₹)						
目	│ │③意図(この事務事業によって、対象をどのような	<u> </u> ・ <u> </u>	1						
的	佐野市の魅力をPRし、佐野市を訪れてもらう。								
		成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		市の観光客入込数	千人	目標	10, 000	8, 500	8, 600	8, 700	8, 800
			<u> </u>	実績	6, 503	6, 430			
				目標					
	 			実績					
4)結果(どのような結果に結びつけますか?) 「佐服士をきれてもこと								
	│佐野市を訪れてもらう。 │佐野市に宿泊してもらう。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		市の観光入込客数		目標	10, 000	8, 500	8, 600	8, 700	8, 800
			千人	実績	6, 503	6, 429	0, 000	0, 700	0, 000
		市の観光宿泊客数	1	目標	50, 000	60, 000	61, 000	62, 000	63, 000
			人	実績	40, 914	56, 943			
					,	,			

		財源内訳	単位	R3年度((実績)	R4年度	(実績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		15		15		0		0		0
		一般財源	千円		139		139		0		0		0
	<u>+</u>	事業費計(A)	千円		154		154		0		0		0
	事業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費					需用費	75						
入	頁	事業費の 内訳				役務費	50						
量						公課費	29						
			千円										
	싰	職員従事工数	人工		0.04		0. 03		0		0		0
	骨費	人件費計(B)	千円		293		219		0		0		0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		447		373		0		0		0

事務事業名	観光PR車維持管理事業	本年度担当課	観光推進課
争伤争未 有		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	各種まつりの準備や観光PRイベントに際し、物品の運搬等で車両の手配に苦慮していたため、平成21年度にトラックを購入し、広告ラッピングを施しイベント等での活用を始めた。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	高速バスの運行、北関東自動車道の開通により、佐野市は以前より訪れやすい街になってい
県などの法令等、社会情勢など)は	る。市外における観光PRはますます重要になっている。
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	特になし
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

The state of the s					
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組			
	現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外			

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地			
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない			
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果			
類似事務事業はない		成果向上余地がない	取組むことができなかった			
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地			
観光PR車の利用数が少なかったため。 成果向上余地がない						
0 . + - PERINE IE (A)+ P	- 1: / =m / - 1: / / -m /	○□□□++ -+	v 			

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
コロナ禍ということもあり、従来通りの入込数までとは行かなかっ	継続的な事業の実施。
たため。	

	(1) 事務事業の評価結果			西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	小					
		大	T	小		
	成果向上余地			地		

					 -1	カチホヽ	<u> </u>			
車数	事務事業名 「本物の出会い 栃木」観光プロモーション参画事業							本年度担当課	観光推進課	
争仍	事務事業名 								前年度担当課	観光推進課
	基本目標	02	新たフ	な流れ	1の創造による!!	張わうまちづく	IJ		新規・継続	継続事業
政策	政策	01 1	観光。	とコン	ンベンションによ	よる賑わいと活	カあるまちづくり		実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01 7	ひとる	を集と	かる観光戦略の 屈	展開		事	市単独·国県補助	市単独事業
	基本事業	01 1	漬極 6	的な詞	秀客を図る観光戦	战略の推進		業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	田		予算事業名		区	実施方法	直営
科目	一般	07	01	04	「本物の出会い	栃木」観光	プロモーション参画事業	分	事業分類	参画事業
車:	業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成10年度 ~			市長公約	該当なし					
尹:	未引四		#	十段	除り返し	→ → 未粉间 十八 10 年及 ~			総合戦略	該当
根拠》	根拠法令・条例等									

1 事務事業の現状押据【DO】

١.	事務事業の現状把握【DO】									
_((1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標									
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)									
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	?)		
	「本物の出会い栃木」観光キャンペーン推進協議	(市の活動)								
	会に会員として負担金を支出し、協議会主催の会	負担金支出、会議への	り出席、	. 広報:	宣伝物の	作成協力	、観光キ	ャンペー	ン参加	
	議、イベント、キャンペーンに参加している。									
	※「本物の出会い栃木」観光キャンペーン推進協	(協議会の活動)								
	議会とは、栃木県への観光誘客の増大と定着及び	会議の開催(協議会、県	と 南地は	或分科:	会)、バ	ンフレッ	卜作成、	広報宣伝	、イベン	
	観光産業の振興を図ることを目的として、県、市	ト開催			D0 /	D4 == ===		D0 + +	D7 /- /-	
	町村、観光関連団体等で構成している団体。平成	活動指標		単位	R3年度			R6年度	R7年度	
	26年より「やすらぎの栃木路」共同宣伝協議会			回	(実績)	(実績)	<u>(目標)</u> 5	<u>(目標)</u> 5	<u>(目標)</u>	
	から「本物の出会い栃木」観光キャンペーン推進 協議会に名称変更した。	会議への出席回数		<u>凹</u> □	5	5	7	7	5	
	励俄云に石竹変更した。	イベント等参加回数		Ш	U	,	,	,		
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	<u> </u> -か?)								
	関東地方及び近県住民(1都6県十福島県十新潟				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	県)	対象指標 / 1		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	
	(参画対象団体) 「本物の出会い 栃木」観光キ	関東地方と近県の人口		千人	47, 550	1,5 4,154,	1 1 1 1 1 1 1	41, 000	40, 000	
	ャンペーン推進協議会	(人口推計10/1)			,	,	, , , , , ,	,		
		,,,,,								
目的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?	')							
ከህ	栃木県への観光客の増加を図り、佐野市への観光	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	誘客に結びつける。	***************************************	中位	\vee					~	
		市の観光客入込数	千人	目標	10, 000	8, 500	8, 600	8, 700	8, 800	
			1 /	美領	6, 503	6, 429				
				目標						
	休田 / じゅしきも休田に休まらいまましょ			実績						
(4)	結果(どのような結果に結びつけますか?) フェース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カ									
	国内に居住する人に、本市の魅力を知ってもらい	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	、来訪、宿泊してもらう。	広域での連携事業数		目標	16	17	17	18	18	
		仏域 (の) 建防事未数	事業	実績	2	13	17	10	10	
				目標		10				
				実績						
	こ) 公主要弗の世段 - 中記	ı		J . 130						

		財源内訳	単位	R3年度(実績)	R 4 年度	(実績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)				
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0				
		県支出金	千円		0		0		0		0		0				
		地方債	千円		0		0		0		0		0				
		その他	千円		0		0		0		0		0				
		一般財源	千円		250		250		0		0	(
	事	事業費計(A)	千円		250		250		0		0		0				
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費				
投	考費	事業費の 内訳				負担金、補助	カ及び 250										
入	貝																
量																	
			千円														
		四部人															
	ᇫ	職員従事工数	人工		0. 08		0. 11		0		0		0				
	費	人件費計(B)	千円		586		802		0		0		0				
	├ -5	リルコスト (A) + (B)	千円		836		1, 052		0		0		0				

事務事業名	「本物の出会い 栃木」観光プロモーション参画事業	本年度担当課	観光推進課
争份争未 有		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成10年度以降、「やすらぎの栃木路共同宣伝事業」として、栃木県が中心となり全国キャンペーンを展開した。それを引き継ぐ形で「やすらぎの栃木路共同宣伝協議会」へ参画している。
県などの法令等、社会情勢など)は	2020年から新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の発令等により、全国的に 人流が抑制され観光需要が落ち込んだ。2022年には感染が落ち着き、全国旅行支援など旅行
事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	需要喚起策が出され、観光目的の入国受入れ再開や段階的な水際措置の緩和したことで訪日 外国人が増えた。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	一部自治体から負担金の算定方法の見直しの要望があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

1 7 100 1 100 1 101 101 111 111 111 111	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

- 1 100 1 Figure 1 Beautiful Economic							
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地				
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない				
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果				
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	向上しなかった				
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地				
対象エリアが広域にわたるため、	成果向上余地がない						
⑩△表の成里指標の日標が達成	心亜とたる取組内 突						

新型コロナウイルス感染症の影響により目標に達することができな かった。	継続的な事業の実施

	(1)事務事業の評価結果			西結果	(2)今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	-					
		大	中	小		
	成果向上余地			地		

					771	カデホヽ	ヤングンドン	1				
車型	女車撃々	全国	国へそ	つま	ち協議会参画事	業			本年度担当課	観光推進課		
争的	事務事業名								前年度担当課制光推進課			
	基本目標	02	新たフ	な流れ	<mark>れの創造による</mark> り	張わうまちづく	IJ		新規・継続	継続事業		
政策	政策	01 1	観光。	とコ:	ンベンションによ	る賑わいと活	カあるまちづくり		実施計画・一般	一般事業		
体系	施策	施 策 01 ひとを集める観光戦略の展開							市単独・国県補助	市単独事業		
	基本事業	01 1	漬極 6	的な記	秀客を図る観光戦	战略の推進		業	任意・義務	義務的事業		
予算	会計	款	項	田		予算事	業名	区	実施方法	直営		
科目	一般	07	01	04	全国へそのまち	協議会参画事業	Ė	分	事業分類	参画事業		
車	東紫江南							市長公約	該当なし			
事 :	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成11年度 ~								総合戦略	該当なし		
根拠	根拠法令・条例等											

1 事務事業の現状把握【DO】

	1.	事務事業の現状把握【DO】								
	(-	1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標								
	1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
		事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	?)	
		・会員として、負担金を支出している。また、総会、幹事会、イベント等に参加することにより、参画市町村との交流および地域の活性化を図る。※全国へそのまち協議会は全国の「へそのまち」を名乗る市町村により、自治体間の親善と交流、魅力ある地域づくりの推進に資することを目的と	負担金支出、総会(書面 【協議会の活動】	総会、幹事会、加盟促進、観光物産展等の開催、災害時相互応援協定事業、情報						
		して組織された。現在は9市町村を会員として構	 活動指標		単位	R3年度			R6年度	R7年度
		成されている。	会議開催回数			<u>(実績)</u> 2	<u>(実績)</u> 2	<u>(目標)</u> 2	<u>(目標)</u> 2	<u>(目標)</u> 2
			イベント開催回数		_ <u>問</u>	0	4	4	4	4
			会議出席回数		<u> </u>	0	2	2	2	2
r		②対象(この事務事業は誰・何を対象としています								
		協議会加盟自治体 (参画対象団体)全国へそのまち協議会	対象指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
			加盟市町村数		市町村	9	9	9	9	9
	■ ŀ	◎尭□ /- ○主攻古光にし マームをナドのしこれ								
	的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?)						
		加盟市町村間の連携・イベントの開催等により、 へそのまちを周知し、観光客数や知名度の上昇を	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		図る。	市の観光客入込数	千人	目標		8, 500	8, 600	8, 700	8, 800
			十 6 年 火 南南 法 料	1 /	美領	6, 503	6, 429		00 000	60,000
			市の観光客宿泊数	人	目標	50, 000 401, 914		61, 000	62, 000	63, 000
H	<u>(1)</u> :	結果 (どのような結果に結びつけますか?)			大限	401, 314	30, 343			
	<u>-</u>)	国内に居住する人に本市の魅力を知ってもらい、 来訪、宿泊してもらう	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			広域での連携事業数	± 1114	目標	16	17	17	18	18
				事業	実績	2	3			
					目標					
					実績					

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		75		10		0		0		0
	_	事業費計(A)	千円		75		10		0		0		0
	事業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業費					負担金、補助	及び 10						
入	貝	事業費の											
量													
			千円			•••••							
		内訳											
						•••••							
										•			
	人	職員従事工数	人工		0. 05		0.1		0		0		0
	件	人件費計(B)	千円		366		729		0		0		0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円	_	441		739		0		0	_	0

事務事業名	全国へそのまち協議会参画事業	本年度担当課	観光推進課
尹衍尹未有		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成11年度に旧田沼町が「日本列島の中心 どまんなかたぬま」を宣言したことにより協議会に加盟した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	合併や財政圧迫を理由に、各市町村の脱退が相次ぎ、一時は6市町村まで減少。その後、平成19年に7市町村、平成20年に8市町村、平成28年に9市町村、平成30年度に10市町村まで増加したが、令和2年度に9市町村となった。しかし、各自治体で財政難が叫ばれる昨今、協議会の運営は非常に厳しくなってきている。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	平成29年2月には「加盟市町村災害時の相互応援に関する覚書」を締結するなど、関係の 充実が図られており、今後より一層の発展が期待されている。四国地方の加盟がないため、 「へそ」「中央」を呼称する市町村への加盟を打診している。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
目的(対象・意図)再設定	市町村交流とまちづくりの推進を趣旨とする協議会のため、総合政策部局所管の打診をしたが調整できなかった。

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	取組むことができなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
新型コロナウイルス感染症の影響 	で書面会議となってしまった。		成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容
新型コロナウイルス感染症の影響 た。	で目標に達することができなかっ	継続的な事業の実施。	

	(1)事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				目的(対象・意図)再設定	他の自治体が企画、制作部門が担当している。本 市では観光部署がこれまで担当している。
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標					市町村交流とまちづくりの推進を趣旨とする協議	
達	中		0		会で、さらに災害の際の協力関係もあるので、担	
成					当部署の検討が必要。	
度						
	小					
		大	中	小		
	成果向上余地					

	サ切ず木、パングン・フェー										
車数	車	栃木県観光物産協会参画事業								本年度担当課	観光推進課
事務事業名									前年度担当課	観光推進課	
	基本目標02 新たな流れの創造による賑わうまちづくり								新規・継続	継続事業	
政策	政 策	01	観光。	とコ:	ンベンションによ	こる賑わいと活	力あるまちづくり			実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01	ひとる	を集る	める観光戦略の風	展開		=	事	市単独・国県補助	市単独事業
	基本事業	01	積極的	的な	秀客を図る観光戦	战略の推進		į	業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	07	01	04	栃木県観光物産	協会参画事業		3	分	事業分類	参画事業
車:	事業計画 ※左座録UをL 事業期間 並ば10左座									市長公約	該当なし
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成19年度 ~										総合戦略	該当なし
根拠	法令・条件	列等	なし	,							

		事務事業の現状把握【DO】								
_	(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
(1)=	F段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
		事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年月	医実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	?)	
		栃木県観光物産協会に会費として負担金を支出す	【市の活動】負担金の	支出。九	協会が:	発行する	観光情報	誌への情	報提供。	県物産協
		る。また、会議やイベントへ参加し、観光情報の	会HP「とちぎ旅ネット」							
		収集発信を行っている。	【栃木県観光物産協会の	の活動】	県内	観光情報	の収集・	提供、PR	事業の助	成
		※栃木県観光物産協会は、県内の観光事業者や自								
		治体で組織される。栃木県内の観光情報の収集・								
		提供やPR事業を行っている。	活動指標		単位	R3年度		R5年度		R7年度
						(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
			会議等への出席回数		回	0	0	1	10	1
			情報提供回数		口	12	12	12	12	12
H	-	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	: tv 0 \							
	- 1	☑対象(この事務争来は誰・何を対象としていまり 加盟団体	<i>(</i>) ()	1		D2左庄	D/左庄	R5年度	DC左由	D7年年
		加盖四体	対象指標		単位	R3年度 (実績)	(実績)		R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
		(参画対象団体)栃木県観光物産協会	加盟団体		団体	384	369	360	360	360
l	⋾ ├									
	'nĽ	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?	?)						
		適切な本市の観光情報の提供による観光客の増加 を図る。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			市の観光客入込数	千人		10, 000	8, 500	8, 600	8, 700	8, 800
				' /	実績	6, 503	6, 429			
					目標					
	1	#田 / じの 4 3 4 4 田に針がつはままれる)			実績					
1		吉果(どのような結果に結びつけますか?) 本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもら		1						
		や中の魅力を知ってもらい、未初、伯泊してもら う。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			広域での連携事業数	事業	目標	16	17	17	18	18
				7.4	美領	2	3			
					目標					
					実績					
		、 公古世典の世段 「中国								

		財源内訳	単位	R3年度(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0	0		0		0			0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0	0			0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		30	30			0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		30		30		0		0		0
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費	事業費の 内訳				負担金、補助	及び 30						
入	貝												
量													
			千円										
		7664											
	슸	職員従事工数	人工		0. 03		0. 02		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		220		146		0		0		0
	トーち	タルコスト (A) + (B)	千円		250		176		0		0		0

事務事業名	栃木県観光物産協会参画事業	本年度担当課	観光推進課
尹衍尹未 石		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	前身の栃木県観光協会に合併前は1市2町で加盟していた。旧田沼・葛生については自治体で、旧佐野については観光協会が負担金を払っていた。平成19年度から佐野市と観光協会の両者が案分して負担金を支払っている。
	市町村合併や景気の後退により、財源である負担金の額等についての動向が不安定である。 ※平成21年に観光協会と物産振興協会の合併により、栃木県観光物産協会となった。 ※平成23年度より、負担金が増額。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	栃木県内の観光誘客数は、県北地域に偏っているので、県南地域の誘客活動を強化してもらいたい。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

1 7 100 1 100 1 101 101 111 111 111 111	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

L. 予切予末の予及計画【olicon】							
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地				
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない				
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果				
類似事務事業はない		成果向上余地がない	向上した				
		⑨事務事業の成果向上余地					
スマートワーケーション発信事業	成果向上余地がない						
⑩A表の成果指標の目標が達成	必要となる取組内容						
新型コロナウイルス感染症の影響	により目標を達することができな	協会主催の観光キャラバン等に参	加し、情報の発信を行うことで観				

かった。 光客誘客を図る。

_	, <u> </u>	計画相关のNotific 7 反の分词は [Notifin]									
	(1) 事務事業の評価結果			価結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策					
	大				現状維持(従来通り実施)						
E	∄L				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。						
j F	票 中		0								
5	小										
		大	中	小							
		成	果向上余	地							

					771	DTA \	<u> ヤンパンドン</u>	<u> </u>			
車型	事務事業名 両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議参画事業							本年度担当課 観光推進課			
事作	事份事未有								前年度担当課	観光推進課	
	基本目標	02	新たフ	な流れ	れの創造による馴	最わうまちづく	IJ		新規・継続	継続事業	
政策	政策	01 1	観光。	とコ:	ンベンションによ	こる賑わいと活	カあるまちづくり		実施計画・一般	一般事業	
体系	施策	01	ひとる	を集る	める観光戦略の展	展開		事	市単独・国県補助	市単独事業	
	基本事業	01	積極的	的な	誘客を図る観光戦	战略の推進		業	任意・義務	任意的事業	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名	区	実施方法	直営	
科目	一般	07	01	04	両毛地域・東武	鉄道観光誘客選	重絡会議参画事業	分	事業分類	参画事業	
車	声 类計画				編り返し 事業期間 平成17年度 ~				市長公約	該当なし	
尹 :	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成17年度 ~								総合戦略	該当なし	
根拠	法令・条件	列等	なし	,							

IX									
1.	1. 事務事業の現状把握【DO】								
((1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標								
1	①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方) 令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)									
	両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議へ会員とし	(1) ふらっと両毛パン						版、春夏	钣)
	て負担金支出。	(2)観光キャンペーン				住駅、新	越谷駅)		
	総会や担当者会議への参加を通して各種観光誘客	(3)観光ポスターの馴				M			
	事業を実施。	(4)両毛地域・東武鋭							
	*両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議とは、両	(5)誘客施策ワーキン	ノソソ)	レーフ	云譲の囲	隹			
	毛地域への観光誘客促進を目的として、東武鉄道				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	、両毛7市(佐野市、足利市、館林市、太田市、	活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
	伊勢崎市、桐生市、みどり市) により構成してい	会議回数		回	4	5	5	5	5
	る団体である。	イベント回数		口	0	3	3	3	3
		冊子等校正		□	30	30	30	30	30
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	「か?) 							
	東武鉄道利用者、沿線住民	対象指標		単位	R3年度			R6年度	
	(参画対象団体)	佐野駅利用客数(1日平	人	(実績) 2.769	<u>(実績)</u> 2,856	(目標)	(目標)	(目標)	
	(多回外家団体) 両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議	在野歌利用各数(10十	-13)		2, 709	2, 000	_	_	_
_	问七纪34 宋武弘廷就允仍各是相玄俄								
目	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	- :状態にしたいのですか?	')						
的	両毛地域及び佐野市のPR強化。東武鉄道利用観光	成果指標	単位		D2左由	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	客の増。	八米担保	甲亚		R3年度				N/平皮
		冊子作成部数	部	目標	88, 000	85, 000	85, 000	85, 000	85, 000
		/ × > n+ .º > -= = 1 +-	н	実績	85, 000	85, 000	1 500	1 500	1 500
		イベント時パンフ配布	枚	目標 実績	3, 500 0	1, 500 1, 250	1, 500	1, 500	1, 500
	結果(どのような結果に結びつけますか?) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	数(佐野市分)		天視	U	1, 200			
4	相来 (とのような相来に相び)()まりが:) 本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもら								
	う。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		観光客入込数	T 1	目標	10, 000	8, 500	8, 600	8, 700	8, 800
			千人	実績	6, 503	6, 429			
				目標					
				実績					
(2) 総事業費の推移・内訳								

		心中不良切几		7 3 6/1									
		財源内訳	単位	R3年度(実績)	R4年度((実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		800		800		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		800		800		0		0		0
	業	事業費の		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費					負担金、補助及	.び 800						
ᄉ	貝												
量													
		事未負の 内訳	千円										
		内机											
	싰	職員従事工数	人工		0. 16		0. 16		0		0		0
	骨費	人件費計(B)	千円		1, 172		1, 166		0		0		0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		1, 972		1, 966		0		0		0

事務事業名	両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議参画事業	本年度担当課	観光推進課
尹伤尹未 位 		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	「両毛地域東武鉄道活性化連絡協議会」が掲げる、両毛地域への観光誘客促進に向けて設置された「両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議」に平成17年度より参画したことによる。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は	国の観光立国宣言により、県及び市の観光戦略が大きく変化し、各市でも観光誘客事業に重 点を置き施策を行っている。
事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者)	各市担当者から、キャンペーンの地域と方法の見直しを要望する意見が出ている。
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(1) 前十及の計画相次に対する以上、収合の水池								
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組							
現状維持(従来通り実施)	現状維持のため対象外							

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地				
結びついている	市でなければできない 妥当である		削減の余地はない				
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果				
類似事務事業はない		成果向上余地がない	向上した				
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地				
前年度は新型コロナウイルス感染 千住駅・新越谷駅にて実施するこ	があったが、今年度は池袋駅・北	成果向上余地がない					
⑩A表の成果指標の目標が達成	必要となる取組内容						

新型コロナウイルス感染症の対策を行いながらイベントを実施した が、コロナの影響もあり、従来通りの来場者数までとはいかなかっ たと思われる。

	(1) 事務事業の評価結果			西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
	中			0		
成						
度	小					
		大	中	小		
	成果向上余地			地		

	サ初手木 ハインノン・フー													
車数	事業名	例	将使 追	軸井	卡同開発協議会参	画事業		本年度担当課	観光推進課					
争的	伊未石							前年度担当課	観光事業係					
	基本目標	02	新たれ	な流れ	れの創造による ^脈	張わうまちづく		新規・継続	継続事業					
政策	政 策	01	観光。	とコ:	ンベンションによ	る賑わいと活	カあるまちづくり		実施計画・一般	一般事業				
体系	施策	01	ひと	を集る	める観光戦略の屈	展開		事	市単独・国県補	市単独事業				
	基本事業	01	積極的	的な	誘客を図る観光戦	战略の推進		業	任意・義務	任意的事業				
予算	会計	款	項	目		予算事	業名	区	実施方法	直営				
科目	一般	07	01	04	例幣使道軸共同	開発協議会参画	国事業	分	事業分類	参画事業				
車.	業計画				:絽 いたし	事業期間	平成22年度 ~		市長公約	該当なし				
尹:	未可凹	単年度繰り返し 事業期間 平成22年度 ~						総合戦略	該当なし					
根拠	法令・条	例等	なし	,										

- 1. 事務事業の現状把握【DO】

(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標										
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	<u>!)</u>			
	例幣使道軸共同開発協議会に参画し、足利市・栃	(市の活動)									
	木市・鹿沼市及び各観光協会と共同で、例幣使街	・総会への参加 ・担当	・総会への参加 ・担当者会議への参加(4回) ・ワーキンググループ会議								
	道の観光PRを行い観光誘客向上を図る。	の参加(1回)									
		・デジタルスタンプラリー実施									
					ᇟᄯᄨ	D4 /= ri=	DC /= c÷	DC 는 ch	ᇚᄼᇠᇠ		
		活動指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度	R6年度 (目標)	R7年度		
		イベント開催数		□	<u>(</u>	<u>(夫視)</u> 1	<u>(目標)</u> 1	<u>(日保)</u> 1	<u>(目標)</u> 1		
		コープー開催奴		<u> </u>	0				-		
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)									
	全国の人口	対象指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
		刈	. —	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
		国内の総人口		千人	125, 502	124, 947	_	_	_		
		(人口推計10/1)									
目	② 弁団 ノーの本次本米にし、マーサタナドのしこれ										
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか? 	')								
	佐野市への観光客の増加を図る。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
		観光客入込数	千人	目標	10, 000	8, 500	8, 600	8, 700	8, 800		
			十八	美領	6, 503	6, 429					
				目標							
				実績							
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)										
	本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもら う。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
		広域での連携事業数	事業	目標	10	15	15	15	15		
			尹禾	実績	2	24					
				目標							
				実績							

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年	度(美	€績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0			0		0	0	
		県支出金	千円		0	0			0		0	0		
		地方債	千円		0	0		0		0		0		
		その他	千円		0	0		0			0		0	
		一般財源	千円		200	200		0			0		0	
	事	事業費計(A)	千円		200	200				0		0		0
	業	事業費の		項目	事業費	項目		事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費					負担金、補	助及び	200						
入	頁													
量														
			千円											
		内訳												
	싰	職員従事工数	人工		0.04			0. 04		0	0		0	
	件 費	人件費計(B)	千円		293			291		0		0		0
	h-5	ルコスト (A) + (B)	千円		493			491		0	0		0	

事務事業名	例幣使道軸共同開発協議会参画事業	本年度担当課	観光推進課
尹衍尹未 石 		前年度担当課	観光事業係

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	両毛地区広域行政推進協議会参画事業が終了となり、広域で観光振興を行う事業を継続し効率的な観光PRを実施するために開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は	国の観光立国宣言により、県及び市の観光戦略が大きく変化し、各市でも観光誘客事業に重点を置き施策を行っている。
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	近隣4市で広域的に観光PRを行うことは、効果的な誘客が見込める。また、各市の情報を
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	交換できるという点でも有益である。
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
*****	協議会において積極的に事業を展開するように進言した。
事業のやり方改善(成果向上の見直し) 	

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	向上した
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
これまで実施できなかったイベン	成果向上余地がある程度ある		

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
感染症の影響による。	対象に合致したイベントやPRの実施。

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				事業のやり方改善(成果向上の見直し)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

	サ初ず木、ヤングン・フ・ブー													
車型	務事業名	栃オ	マ果プ	7ンラ	ーナショップ協議	会参画事業		本年度担当課	観光推進課					
争的	伊禾石							前年度担当課	観光推進課					
	基本目標02 新たな流れの創造による賑わうまちづくり									継続事業				
政策	政策	01 1	観光。	とコ:	ンベンションによ	よる賑わいと活.	カあるまちづくり		実施計画・一般	一般事業				
体系	体系 施 策 01 ひとを集める観光戦略の展開									市単独事業				
	基本事業	01 1	漬極 的	的な	誘客を図る観光戦	战略の推進		業	任意・義務	任意的事業				
予算	会計	款	項	目		予算事	業名	区	実施方法	一部委託				
科目	一般	07	01	04	栃木県アンテナ	ショップ協議会	会参画事業	分	事業分類	参画事業				
車	業計画		光左连续以下上			事業期間	 平成24年度 ~		市長公約	該当なし				
争:	未計凹		単年度繰り返し 事業期間 平成24年度 ~						総合戦略	該当なし				
根拠	法令・条件	列等												

1 事務事業の現状把握【DO】

7	. 事務事業の現状把握【DU】											
_(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標											
(1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	ł)				
	栃木県アンテナショップ協議会会員として、負担	①負担金の支出										
	金を支出する。また、会議やイベントへ参加し、	②運営会議(3回)、総	会(3[回)、	意見交換	会						
	栃木県アンテナショップ(以下、とちまるショッ	3イベントの実施	③イベントの実施									
	プ)の内容充実、さらなる周知を図る。											
	┃ ┃※栃木県アンテナショップ協議会は、栃木県(市											
	町)の知名度アップ、ブランド価値向上、地域産	V-2111-12		*** / 1	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
	業振興、誘客促進を図ることを目的に組織される	活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
	0	会議への出席回数			8	7	8	8	8			
	構成団体・・・県及び県内全市町											
	○++++	- /· · · · ·										
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?) 	1		DO左曲	DA左曲	DC 左 由	DC左曲	D7.左 由			
	栃木県アンテナショップ来場者 	対象指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)				
		来場者数		千人	949	1.117	1. 200	1, 200	1, 200			
		71.97 1.37		170	0.10	1, 117	1, 200	1, 200	1, 200			
目												
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?)									
н.	佐野市の魅力を知ってもらい、誘客につなげる。 	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		市の観光客入込数	千人	目標	10, 000	8, 500	8, 600	8, 700	8, 800			
			一人	実績	6, 503	6, 429						
				目標								
	 結果(どのような結果に結びつけますか?)			実績								
ا	国内に居住する人に本市の魅力を知ってもらう。											
	国内に居住する人に本中の魅力を知りてもちり。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		市の観光入込客数	千人	目標	10, 000		8, 600	8, 700	8, 800			
			1 /	表領	6, 503		04.000	22 22				
		市の観光宿泊客数	人	目標	50,000		61, 000	62, 000	63, 000			
				実績	40, 914	56, 943						
(2) 総事業費の推移・内訳											

		ポティススマンル	_ !/	10/1									
		財源内訳	単位	R3年度(第	ミ績)	R4年度(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0	0	
		県支出金	千円		0	0		0			0		
		地方債	千円		0		0		0		0		
		その他	千円		0			0		0			0
		一般財源	千円		736		923		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		736		923		0		0		0
	業	事業費の		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	帯					負担金、補助及び	923						
ᄉ	貝												
量													
		中未負の内訳	千円										
		7664											
	从	職員従事工数	人工		0. 07		0. 12		0		0		0
	件 -	人件費計(B)	千円		513		874	0		0		0	
	1-5	タルコスト (A) + (B)	千円		1, 249		1, 797		0		0	0	

事務事業名	栃木県アンテナショップ協議会参画事業	本年度担当課	観光推進課
尹份尹未仁		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成24年春の東京スカイツリーオープンを栃木県PRの絶好の機会と考え、栃木県の知名度 アップ、地域産業等の振興、誘客促進を目的に栃木県アンテナショップを設置。栃木県アン テナショップ協議会に本市が参画したことにより開始した。
	2019 年のコロナ前との比較では完全な回復に至っていない。半月ごとの実績を確認し、追加の施策を提案し効果測定を行っている。オンライン販売の取り組みを強化。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	日本の一大観光名所となる東京スカイツリーにアンテナショップを設置することは、栃木県 (佐野市) への誘客促進において、大きな効果が見込める。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

1 7 100 1 100 1 101 101 111 111 111 111	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

- 1. 10. 1. New J. Will Im Foresta								
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地					
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない					
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果					
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	取組むことができなかった					
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地					
市町の人口割、売上割で負担金が 上がる。	成果向上余地がない							
⑩A表の成果指標の目標が達成	⑩ A 表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由 ⑪目標達成に向けて必要となる取組内容							
¥刑っロナウノルス成為庁の影響により日毎に法することがあまた。 継続的な東米の実施								

新型コロナウイルス感染症の影響により目標に達することができな 継続的な事業の実施。	
かった。	

	(1)事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策				
	大				現状維持(従来通り実施)					
E	ıL				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。					
楊	中		0							
月			_							
度	小									
		大	中	小						
		成	果向上余	地						

						カチホヽ	<u> </u>				
車級	事業名	新型コロナウイルス感染症対策どまんなかフェスタ佐野開催支援事業							本年度担当課	観光推進課	
争仍	争未有									前年度担当課	観光推進課
	基本目標	02	新たフ	な流れ	れの創造による駅	張わうまちづく	IJ			新規・継続	新規事業
政策	政策	01	観光。	とコ:	ンベンションによ	よる賑わいと活	力あるまちづくり			実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01	ひとる	を集る	める観光戦略の屈	展開			事	市単独・国県補	市単独事業
	基本事業	01	積極的	的な	秀客を図る観光戦	戦略の推進 ニュー				任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	07	01	04	新型コロナウイ	ルス感染症対策	後どまんなかフェスタ (左野開	分	事業分類	支援事業
古典社画 光左连の7. 古典知問 合和4左由					△和4年度 → △年	14年度		市長公約	該当なし		
尹	事業計画 単年度のみ 事業期間 令和4年度 ~ 令和4年度									総合戦略	該当なし
根拠	法令・条件	列等	なし	,							

	. 事務事業の現状把握【DO】								
_	1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標								
()手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	医実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)	
	どまんなかフェスタ佐野実行委員会に交付金を交	どまんなかフェスタ佐里	予実行	委員会(の活動				
	付し、どまんなかフェスタ佐野の開催を支援する	・実行委員会の開催							
	0	・令和4年11月6日に「と	ごまんだ	よか フ	ェスタ佐	野2022」	を開催		
	※どまんなかフェスタ佐野実行委員会は、どまん								
	なかフェスタ佐野開催のために市内関係団体によ								
	り構成された組織。	活動指標		単位	R3年度		1 1	R6年度	R7年度
					(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		会議開催回数		- 回		15	_	_	_
		実行委員数	-	<u>人</u> 枚		15 46, 000	_	_	
H	②対象 /この東敦東業は誰 ほよ対象 にしています	広報チラシ配布数		仪		40, 000	_		_
	②対象 (この事務事業は誰・何を対象としています) ①市民	<i>か?)</i> 	Т		DO左曲	DA左曲	DC左曲	DC /= re	D7左曲
		対象指標		単位	R3年度 (実績)	(実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
	③観光客	市民の数(人口)		人		115, 700	(日 <i>1</i> 宗/	(日 <i>情)</i>	(日 <i>1</i> 宗/
	(交付対象団体)	参加団体数		団体	_	57			
	ジェム たかフェスタ 佐殿宇行禾昌会	観光客入込数		千人	_	6. 429	_	_	_
E	③音図 (この事務事業によって 対象をどのような	7070 11 11 11 11 11	·)	1 / \		0, 120			
的	本イベントに出展する事業者等の出展料を減額し								
	、経費負担を軽減することで、事業者等を支援し	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	、市内事業者等に事業活動の場を提供する。	参加団体数		目標	_	57	_	_	_
			団体	実績	_	57			
		来場者数	人	目標	-	10,000	_	_	_
			^	実績	-	20, 000			
(結果(どのような結果に結びつけますか?)								
	本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもら	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	う。		丰山		113千茂		113千茂	10千皮	八十段
		観光客入込数	千人	目標		8, 500	_	_	_
			' ^		_	6, 429			
				目標					
				実績					
	○ \								

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R4年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		1, 000		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		0		0		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		0		1, 000		0		0		0
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費	事業費の 内訳				負担金、補助刀	及び 1,000						
入	負												
量													
			千円										
		内訳											
	싰	職員従事工数	人工		0		0. 02		0		0		0
	骨費	人件費計(B)	千円		0	·	146		0		0		0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		0		1, 146		0		0		0

事務事業名 新型コロナウイルス感染症対策どまんなかフェスタ佐野開催支援事業 本年度担当課 観光推進課 前年度担当課 観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	台風や新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていた本イベントの開催にあたり、出展料を減額し、経費負担を軽減することで、市内事業者等の支援及び事業活動の場を提供するため。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	新型コロナウイルス感染症の収束が見込めるまでは、感染症対策が行政に求められる。
県などの法令等、社会情勢など)は	
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	コロナ禍においてのイベントで、出展者の経費負担が図られることは歓迎される。
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(1) 的一及50日間間不同200年 5	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	新規事業のため対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 于切于木砂于区时 Lincon 1						
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地			
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない			
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果			
類似事務事業はない			向上した			
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地			
新型コロナウイルス感染症の影響 出展料を前回開催時より減額した	林業等の事業者を支援するため、	成果向上余地がない				
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容			
···	を行いながらイベントを実施した もあり、従来通りの来場者数まで					

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				事業終了	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中			0		
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

					7 1	ルナヘヽ	1.77				
事務事業名 佐野市観光協会新型コロナウイルス感染症対策支援事業										本年度担当課	観光推進課
争的	争未有									前年度担当課	観光推進課
基本目標 02 新たな流れの創造による賑わうまちづくり										新規・継続	新規事業
政策 政 策 01 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり										実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01	ひとる	を集と	める観光戦略の屈	展開				市単独・国県補	市単独事業
	基本事業	01	漬極 6	的な記	秀客を図る観光戦	战略の推進			業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	指定管理者
科目	一般	07	01	04	佐野市観光協会	新型コロナウィ	イルス感染症対策	传支援事業	分	事業分類	施設維持管理事業
事業計画 単年度のみ 事業期間 令和4年度 ~										市長公約	該当なし
尹:	未引四			##	反のの	· 令和4年度		総合戦略	該当なし		
根拠	法令・条件	列等			_					-	

1 事務事業の現状押据【DO】

1	. 事務事業の現状把握【DO】											
(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標											
(手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	\$)				
	観光事業者は顧客及び従業員へのコロナ対策は引	交付金の交付										
	き続き取組むものの、対策費用は昨今の物価高騰	・観光事業者へ手指消毒										
	により経営を圧迫しつつあるため、事業者が少し	・インフルエンサーを打				モニター	ツアー、	情報発信				
	でも健全な経営が出来るよう必要経費を支援し、	・インバウンド向け包括										
	観光業発展に寄与することを目的とし、必要経費	・電動アシスト自転車を購入、レンタサイクル事業										
	を交付する。※国の臨時交付金を活用											
	・観光事業者の支援	活動指標		単位	R3年度			R6年度	R7年度			
	・国内外観光客向けのプロモーション ・二次交通整備による感染防止	消毒アルコール購入数		本	<u>(実績)</u> ()	<u>(実績)</u> 226	<u>(目標)</u> 0	<u>(目標)</u> 0	<u>(目標)</u> 0			
	・一次文通金浦による念朱防止		米石	<u>半</u> 台	0	10	0	0	0			
		祖致インフルエンサー人			0	3	0	0	0			
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています		\%\			U	U					
	観光事業者、観光客		I		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		対象指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
		佐野市観光協会正会員数	<u>γ</u>	会員	212	226	235	240	245			
E												
的	③息凶(この事務事業によつし、対象をとのような	状態にしたいのですか?)									
"	ワイスコロナ期における佐野市観光協会の観光P	成果指標	単位	/	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
	R・誘客事業を推進する。		+12	\vee								
		市の観光客入込数	千人	目標	10, 000	8, 500	8, 600	8, 700	8, 800			
				実績	6, 503	6, 429						
				目標実績								
	」 D結果(どのような結果に結びつけますか?)			天限								
١	佐野市を訪れてもらう。											
	佐野市で富治してもらう。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
	社が同様という。	市の観光入込客数		目標	10, 000	8, 500	8, 600	8. 700	8. 800			
			千人	実績	6, 503		-, - 5 -	-,	-,			
		市の観光宿泊客数	ı	目標	50, 000		61, 000	62, 000	63, 000			
			人	実績	40, 914	56, 943						
	2) 総事業費の推移・内訳											
(2)総事未貸の推修・内訳											

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度	(目標)
		国庫支出金	千円		0		4, 441		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		0	0			0		0		0
	 	事業費計(A)	千円		0		4, 441		0		0		0
	事			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業					負担金、補助刀	及び 4,441						
入	頁	事業費の											
量													
			千円			•••••							
		内訳											
						•							
	싰	職員従事工数 人工 0 0.01			0		0		0				
	件	人件費計(B)	千円		0		73		0	0		0	
	トーク	タルコスト (A) + (B)	千円		0		4, 514		0		0		0

事務事業名	佐野市観光協会新型コロナウイルス感染症対策支援事業	本年度担当課	観光推進課
争伤争未位		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止とともに、感染拡大の影響を受けている地域経済 や住民生活を支援し地方創生を図るために創設された「新型コロナウイルス感染症対応地方 創生臨時交付金」を活用して実施した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	国は、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として令和2年度から臨時交付金を交付して
県などの法令等、社会情勢など)は	いる。
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

	日 3.7 次/匝
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	令和5年度のみ

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 于初于木砂于欧阳區 [chlock]											
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地								
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない								
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果								
類似事務事業はない			向上した								
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地								
		ため、事業者と来店者の安全確保設置により、観光客等が市内巡回	成果向上余地がない								
⑩A表の成果指標の目標が達成		⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容								
新型コロナウイルス感染症の影響	により目標に達することができな	事業終了									
かった。											

_	- н	1 mm 1 mm 7 mm 7 mm 7 mm 7 mm 7 mm 7 mm	7 110 JH C	/ IX 47 / J I	ALT Exections	
	(1)事務署	事業の評価	価結果	(2)今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				事業終了	
	⋾ ∟				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
相這	票 中		0			
J	女					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

					** **********************************	为于木、	<u> ヤンバン</u>	<u> </u>	<u> </u>		
主教	事業名	11	大山	文字	≧焼き廃止に伴う	原状回復支援署	事業			本年度担当課	観光推進課
= 13	争未有									前年度担当課	観光事業係
基本目標 02 新たな流れの創造による賑わうまちづくり										新規・継続	新規事業
政策 政 策 01 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり										実施計画・一般	一般事業
体系 施 策 01 ひとを集める観光戦略の展開									事	市単独・国県補	市単独事業
	基本事業	01 1	責極的	的な記	誘客を図る観光戦	战略の推進			業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	田		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	07	01	04	三毳山大文字焼	き廃止に伴う原	原状回復支援事業		分	事業分類	支援事業
車:	事業計画 単年度のみ 事業期間 令和4年度 ~ 令和4年度									市長公約	該当なし
事 :	未可凹			##	・良いの	令和4年度		総合戦略	該当なし		
根拠	法令・条件	列等									

1 事務事業の現状把握【DO】

1		事務事業の現状把握【DO】								
	(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
(1):	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
		事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	rった主な	活動内容	!)	
	Ī	三毳山大文字焼き運営委員会に対し、大文字焼き	三毳山大文字焼き廃止に	半う原	京状回	復を支援	するため	、運営委	員会に対	し補助金
		廃止に伴う原状回復をするための費用を補助する	を交付する。							
		0								
		※三毳山大文字焼き運営委員会は、三毳山大文字								
		焼きを開催することにより、佐野市に住む人々が				D0		DF 4- 4	D0	D7 4 4
		歴史と文化の香り高いまちとしての誇りを再認識	活動指標		単位	R3年度		R5年度	R6年度	R7年度
		することにより、ふるさと意識の高揚と郷土愛を				(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		育み、地域の活性化及び魅力を広くPRすること	運営委員会開催回数		回		3	_	_	
		を目的として、関係する機関及び地域の関係団体	運営委員数		人		13	_	_	
		等から選出された委員をもって構成されている。	[
	ŀ	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	מי?) ר			D0 /= ri=	D4 /= ri=	DC 선 선	DC #= #=	D7 /= ris
		(交付対象団体) 三毳山大文字焼き運営委員会	対象指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		二毳山人乂子焼さ連呂安貝芸	運営委員会・実行委員会		団体	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
			建四安貝云 天1]安貝ェ	-	四冲		<u> </u>	_		
				1						
E		③意図(この事務事業によって、対象をどのような	L ∵状能にしたいのですか?	')						
台	VI F	三毳山大文字焼きの会場となっていた場所の残材								
		等を処分し、原状回復する。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		TO CONTRACT OF THE PROPERTY OF	三毳山大文字焼き原状	h-h	目標		2			
			回復箇所	箇所	実績		2			
					目標					
					実績					
(4){	結果(どのような結果に結びつけますか?)								
		本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもら	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		う。		+ 12	/	110千尺		110千皮	110千皮	八十尺
			観光客入込数	千人	目標		8, 500			
				1 /	実績		6, 429			
					目標					
					実績					
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·								

		財源内訳	単位	R 3 年度	(実績)	R4年度	(実績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0	0	
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0	0			0		0
		一般財源	千円		0		5, 093		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		0		5, 093		0		0		0
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費					負担金、補助刀	支び 5,093						
入		事業費の 内訳											
量													
			千円										
		7664											
	从	職員従事工数	人工		0		0. 11		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		0		802		0	0		0	
	1-5	タルコスト (A) + (B)	千円		0		5, 895		0		0		0

古功古光力	三毳山大文字焼き廃止に伴う原状回復支援事業	本年度担当課	観光推進課
事務事業名		前年度担当課	観光事業係

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	令和4年度の開催準備を進めている中、現場の悪状況により、開催できる状態ではないと判断し、令和4年度の開催は中止となった。また、運営委員会で令和4年度をもって事業を終了することとし、これに伴い、現場を原状回復し本事業を廃止する必要が生じたため。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	三毳山大文字焼き運営委員会・同実行委員会から三毳山大文字焼き廃止に伴う原状回復への支援について、要望書が提出された。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

	(1) 的 [及] 即 [[]]]] [] []	
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
H	100 1 100 1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	
- 1		
- 1		
- 1		
- 1		
- 1		
- 1		

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない			取組むことができなかった
	⑨事務事業の成果向上余地		
			成果向上余地がある程度ある

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
「運営委員会、地権者へ助言等の支援を必要に応じ実施でできたため	事業廃止

	(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大			0	事業終了	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	票 中					
度	小					
		大	中	小		
	成果向上余地			地		

車数	孫事業名	佐野コミュニケーションセンター運営事業							本年度担当課	観光推進課
争的	争未有								前年度担当課	観光推進課
	基本目標	02	新たれ	な流れ	<mark>れの創造による</mark> り	張わうまちづく	IJ		新規·継続	継続事業
政策	政策	01 1	観光。	とコ:	ンベンションによ	よる賑わいと活	カあるまちづくり		実施計画・一般	一般事業
体系	施策	01 7	ひとる	を集る	める観光戦略の風	展開		事	市単独・国県補助	市単独事業
	基本事業	01 1	漬極 的	的な	誘客を図る観光戦	战略の推進		業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名	区	実施方法	一部委託
科目	一般	07	01	06	佐野コミュニケ	ーションセンタ	9一運営事業	分	事業分類	施設維持管理事業
車:	事業計画		計画単年度繰り返し		:編 []]原 [事業期間	 平成14年度 ~		市長公約	該当なし
尹:			早年及牒り返し			一			総合戦略	該当なし
根拠	根拠法令・条例等なし									

1. 事務事業の現状把握【DO】

	(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標								
	①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)							
	佐野コミュニケーションセンター管理・運営協議	・施設運営(パンフレット設置、ポスター掲示、商品展示、ホームページ登録							
	会の事務(施設運営、パンフレット設置/ポスタ	センター内における	「天明銀	寿物風	鈴」の期	間限定販	売		
	一掲示/商品展示/ホームページ登録)	・佐野ナビゲーションフ	フェアの	の開催					
	佐野ナビゲーションフェアの開催。								
					D2左座	D1左车	DE左由	DC左击	D7左在
		活動指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
				件	86	88	88	(日 <i>信</i>) 88	88
	- I	キャンペーン開催件数			0	2	1	1	1
					_				
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)							
	佐野プレミアム・アウトレット来場者	対象指標		単位	R3年度			R6年度	R7年度
	佐野コミュニケーションセンター来館者				(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		センター来館者		人	48, 856	49, 622	50, 000	50, 000	50, 000
E		仕能にしたいのですかっ	1						
台	位野市のPRをし、街中へ回遊してもらう。		,						
		成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		ホームページアクセス	件	目標	10, 000	10, 000	6, 000	6, 000	6, 000
		件数(独自)	- ' '	実績	13, 179	5, 586	05.000	05 000	05.000
		パンフレット設置数	枚	目標	30, 000	,	25, 000	25, 000	25, 000
				実績	18, 790	23, 418			
(4	D結果(どのような結果に結びつけますか?) 「大声の魅力を知ってもらい、東話、窓泊してもら」								
	本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもら う。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		市の観光入込客数	千人	目標	10, 000	8, 500	8, 600	8, 700	8, 800
			T.人	実績	6, 503	6, 429			
				目標					
				実績					
	(a) W=##a#fa +=0								

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R4年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		6, 004		6, 380		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		6, 004		6, 380		0		0		0
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	3	事業費の 内訳				負担金、補助及	とび 4,300						
入						使用料及び賃借	計料 1,781						
量						需用費	228						
			千円			役務費	71						
	싰	職員従事工数	人工		0. 11		0. 11		0		0		0
	件	人件費計(B)	千円		806		802		0		0		0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円	_	6, 810		7, 182		0		0		0

車数車者	佐野コミュニケーションセンター運営事業	本年度担当課	観光推進課
事物争え	1 1	前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成15年3月の佐野プレミアム·アウトレットのオープンに備え、アウトレット及び新都市地区の来訪者を市内に回遊させること及び佐野市をPRすることを目的に開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は	アウトレットは1年ごとに店舗を増やし、80店舗から約180店舗へと増床。着実に顧客を増やしている。
事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	センター内での商品販売を要望する声がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

() m 十及 v n l m l l l l l l l l l l l l l l l l l					
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組				
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外				

2. 事務事業の事後評価【Check】

E. FWFROFICH LONGON					
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地		
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない		
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果		
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	向上した		
	⑨事務事業の成果向上余地				
10月と3月にアウトレットで参集型のイベントを実施した。 成果向上余地がある程度ある					
		の口標はポレカルインモーかったのま ウ			

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら店舗運営やイベント	継続的な事業の実施。
│を実施したが、コロナの影響もあり、従来通りの来場者数までとは	
いかなかったと思われる。	

	(1) 事務事業の評価結果		西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策			
	大				現状維持(従来通り実施)			
ı	▮∟				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。			
	票							
_	主中		0					
	丸							
J	女							
		大	中	小				
		成果向上余地						